



八代中学



八代高女



八代高校

八高同窓会会報 第12号

道

令和2年7月豪雨災害



コロナ禍の中の八高



Contents

- コロナ禍の中の八高
- 7月豪雨と八高
- 八高の未来を語る ～松永新校長を囲んで～
- まほろばカフェプロジェクト
- 地区より
- 学年より
- 頑張ってます
- 会員紹介 八代版
- 八高の思い出「部活動熱血編」
- 大学生紹介
- 高校生紹介
- 事務局より

熊本県立八代高等学校同窓会

令和2年11月10日発行

八代高等学校 副校長 石村 秀一

八代高等学校・八代中学校におきましては、万全の感染症対策を講じた上で、生徒の健やかな学びを保障することを目指して、6月1日から通常登校による教育活動を再開しています。

新型コロナウイルスは今後の見通しが立たない状況ですが、学校ではこれまで新型コロナウイルスをめぐって、「どんなことがあったのか」を生徒たちの頑張っている様子を中心に振り返ります。

臨時休校

3月2日から15日まで一斉臨時休業（休校）としましたが、その後、休業が3月24日まで延長されました。その期間中、各学年に登校日を設定し、高校終業式、中学校修了式、そして退任式を実施しました。

新学期になって再度4月14日から5月6日までの間、臨時休業（休校）を行うこととなりました。休業期間中には登校日を設定し、各教科からの課題に取り組むことにしました。課題の進捗状況や質問等はClassi（学校ICT化を多目的にサポートする教育プラットフォーム）を活用しました。

状況は好転せず、5月7日から5月31日まで再度休業を延長することとなりました。分散登校を行い、また、特別時間割を作成し、各教科から学習計画に基づ



登校日の様子 (1)



登校日の様子 (2)

いて課題が出され、生徒たちはClassiを活用しながら、それに計画的に取り組みました。

学校行事

卒業式

3月1日の高校卒業式、3月18日の中学卒業式は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を十分に行った上で、卒業生及び職員、保護者のみの出席となりましたが、厳粛な雰囲気の中、卒業生は引き締まった表情で卒業証書を受け取っていました。



高校卒業式

■ 昨年度中止となった行事

- 中学クラスマッチ（3月4日予定）
- 県立中3年生グローバルデイ（3月5日予定）
- 同窓会による講演会（3月6日予定）
- 中学授業参観・学級懇談会（3月7日予定）
- 中学入学予定者説明会（3月7日予定）

■ 新任式・始業式

新型コロナウイルス感染防止対策として、新任式と始業式は中学と高校を別会場で実施しました。体育館の席間隔は最大限広げ、会場の窓・扉は開放し、マスクを着用させ、入場時には手消毒を徹底させた上で、実施しました。



中学校卒業式



新任式・始業式

入学式

新入生、保護者及び教職員のみで4月8日に実施しました。式や式後の行事も可能な限り短縮して実施しました。検温、マスクの着用、アルコール消毒液の設置、換気のために体育館の窓等を全開にしたまま実施しました。



入学式 (1)



入学式 (2)

教育活動の再開まで

コロナウイルス感染拡大防止対策

学校の再開に向けて、登校前の検温と、味覚・臭覚の異常等はないか、咳エチケット、こまめな手洗い、部屋の換気等の対策を徹底し、また、3密が重なる場所等での活動を控えるように連絡をしました。

分散登校と時間短縮、時差登校の3つを組み合わせて、学年毎にアセンブリー(学年集会)や、学活等を実施しました。

在宅勤務

在宅勤務を行うことが適当であると認めた職員を対象に実施することとしました。

Web会議と書面評決

職員会議等はWeb会議で行われ、書



授業の様子 (ビニールカーテンを設置して)

面評決で行われることが多くなりました。

学校再開に向けた段階的な教育活動再開の取組みについて

5月18日から5月31日まで、授業を段階的かつ前倒し的に実施することとしました。各クラスを2グループに分け、登校の時間帯を午前と午後に分けました。授業では、生徒の席の間に可能な限り距離を確保し、対面とならないようにしました(休み時間も同様)。教室や学習室等にはビニールカーテンを設置し、最大限の感染防止の取組を行った上で実施しました。

学校再開

県教委の通知を受け、6月1日より学校を再開しました。再開に当たり、「熊本県立学校におけるコロナウイルス感染症に対応した学校再開ガイドライン」に基づき、「学校の新しい生活様式」を踏まえ、万全の感染症対策を講じた上で、生徒の健やかな学びを保障することを目指して、学校における教育活動を実施することにしました。

今年度中止になった行事

- PTA・後援会総会
- オーストラリア研修
- 鳳雛祭(体育の部並びに文化の部)
- 県高校総体

第1回八代中学校説明会について

6月7日に感染症拡大防止の対策をとった上で、規模を縮小して開催しました。



八代中学校説明会

その他

夏季休業期間について

8月7日に1学期終業式、8月24日に2学期始業式を実施しました。高校1・2年生の夏季課外は中止し、3年生のみ実施しました。

部活動における全国大会の中止に伴う各地域での代替案の検討について

熊本県高体連は県高校総体の代替大会の日程を6月16日に発表しました。7月4日から始まるソフトボールを皮切りに8月10日までの土日を中心に28競技を実施しました。本校でも県総体を機に引退する生徒が多いことから、代替大会は「最終学年生徒の発表の場」と位置づけ、一部の新入生が出場しました。従来の県総体と比べて規模を縮小し、感染拡大防止の観点から原則無観客で行われました。



7月4日未明、長時間に及ぶ線状降水帯の出現による猛烈な豪雨により、人吉や坂本地区などの球磨川流域と芦北地区では、河川の氾濫、住宅浸水、道路や鉄道などの交通網の寸断など未曾有の大きな被害に見舞われ、不幸にも65名の尊い人命を奪われる最悪の事態となりました。八高・八中には遠くは人吉球磨地方や八代市坂本町、芦北郡からの通学生も多く、通学や勉強・部活動・進路指導など八高生活の多方面に影響が出ています。そこで、広報委員会では、被災の実態や今後どのような問題が生じてくるのかを知るために、八高の先生方や生徒たちに聴き取り調査を実施いたしました。（9月4日に高2、高1、中3の学年主任の先生方と被災した生徒6名を対象に2回に分けて実施）

災害時の安否確認

災害当日の全生徒への安否確認は、コロナの対策として使用していたリモート学習用のツールClassiによるオンライン回答や直接電話での確認を行いました。電話の不通状態が続く坂本地区とは連絡が取れませんでした。翌日、避難所である八代市総合体育館、千丁コミュニティセンターにて生徒の無事が確認できました。

豪雨による交通網の遮断により通学に大きな影響

現在、八高・八中の生徒の中にはJR肥薩線利用者が8名、肥薩おれんじ鉄道利用者が60名いますが、肥薩線は復旧に

めどがついておらず、また、おれんじ鉄道も佐敷八代間が不通（9月10日現在）となっており、通学に大きな支障が出ています。（肥薩おれんじ鉄道は11月1日から全線運転再開されました）

被害の状況と現在の状態

被災の状況は、高校2年生では、芦北地区で、床上浸水3名、床下浸水3名、自動車の流失が1名でした。住宅が壊滅的な被害にあった生徒は、部活のユニフォームを持って避難したそうです。教科書も多少泥で汚れましたが、本人は公費配布を断り、このまま使用したいと言っています。元来、我慢強い性格で、災害に負けないという強い意思がみられ、他生徒への勇気を与えています。現在家族とともに八代市にアパートを借り、通学しています。

高校1年生では、家屋の大きな被害はありませんでしたが、道路や鉄道の寸断等で通学に支障がある生徒がいます。坂本地区から通学していた生徒の一部には家族とともに引っ越しをした人もいます。

中学生には、肥薩線利用者が4名いましたが、4名とも家屋の被災はありませんでしたが、当初は、鉄道が不通のため保護者による送迎が基本となり、家族にとっては負担が大きい状態でした。渡地区から通学していた生徒は、家屋は被災していないものの、道路の寸断により通学ができなくなり、八代市へ家族で転居し、父母が勤務先の人吉へ通勤をしています。水俣・芦北地区から通学する生徒は、新幹線利用者は平常通りでしたが、肥薩おれんじ鉄道利用者は佐敷駅・八代駅間



が不通となったため、保護者が車での送迎を輪番で行っていました。その後、代替バスの運行が始まり、保護者の負担は減りました。日奈久、二見からの通学生も災害当初は保護者の送迎でしたが、その後、代替バスを利用しています。人吉・球磨方面は9月4日まで保護者が送迎していました。9月7日から高速バス利用者への運賃補助制度がはじまり、高速バスを利用することができるようになりました。八高には新八代駅から自転車で通学しています。坂本地区は9月10日からジャンボタクシーの運行が始まりました。

被災地域の生徒たちへの心のケア

生徒たちへの心のケアは、熊本地震後から「心と体の振り返り」として、生徒へのアンケートを定期的に実施しています。今回の豪雨被害に際しても実施し、生徒の状況の把握に努めています。スクールカウンセラーへの相談につき、カウンセリングも実施しています。以前より、希望者が増え、スクールカウンセラーの敷居も低くなっているのが現状です。

復旧ボランティア活動

ボランティア活動については、学校主催による災害ボランティア活動が計画されていました。八代市でのコロナ感染者の発生に伴い中止となりました。自主的に参加している生徒たちもたくさんいましたが、実態として把握されていません。

んでした。人吉の実家（本人は八代で下宿）が被災した生徒は、2週間学校を休み、自宅の片付けや地域の復旧のためボランティア活動をしていたそうです。

被災地域の生徒たちの一番の要望

「八高の時間帯に対応した代替バスを確保して欲しい」

被災地域からの生徒の通学は鉄道から代替バスの運行となりましたが、バスでの通学は朝課外や部活動に大きな支障が生じています。そこには、八高独自の問題があります。

まず、朝課外に出るためには、朝の便の出発時刻が津奈木駅発5時40分と早すぎるのと、佐敷駅からのバスへの乗り換えで、通学時間が長くなり、十分に睡眠時間がとれない状況になっています。

また、代替バスの最終時刻が八代駅発18時40分のため、部活をしている生徒への影響が出ています。部活の日を週3回に制限したり、まったく参加できなかつたりと、極めて深刻な事態となっています。また、バス内は密状態でコロナ感染が心配になっているようです。八高生の場合、発着時刻が課外授業や部活の時間、学力テスト実施日への時間帯に対応が不十分なのが現状です。生徒たちはこの点の改善を強く求めています。



八高の未来を語る 松永新校長を囲んで

8月26日八高校長室にて八高同窓会広報委員会では今年就任されました校長と副校長両先生を囲んで、八高の未来を考える座談会を開催しました。

出席者は村山忍同窓会長、松永健身校長、石村秀一副校長、渡邊亮一同窓会事務局長、広報委員会からは一親房、岡村洋文、作田典子、米本直美、江崎博美、松永正大、柴崎政俊、桑原温乃が出席しました。司会進行は一広報委員長が行いました。



司会…それでは、座談会を始めさせていただきます。同窓会長、松永校長、石村副校長お三方にご挨拶をお願いします。

村山…同窓会は、同窓生が一丸となって、母校の発展のため、積極的な支援をしようという団体です。今回の座談会では皆様に忌憚のない意見を出していただければと思います。

松永校長…前任校は菊池高等学校で3年校長をしておりました。八代への赴任は教員人生で初めてです。今年は、学校行事が全て中止となっています。現在は徐々に生徒の不安を解消すべく、生徒を励ましながら授業に取り組んでいるところです。学校は学校だけでは運営できません。保護者や同窓会の支援が必要です。どうぞよろしくお願いします。

石村副校長…大学を卒業してすぐの3年間は八代高校で勤務いたしました。今、当時の教え子たちと職員室で一緒に仕事をしていて、教員としては大変嬉しいことです。この場でお聞きするご意見を生かしていきたいと思います。

★新型コロナと豪雨災害で手探りの学校運営

司会…まず新型コロナと豪雨による学校の状況について伺います。

石村副校長…2月から新型コロナウイルス感染の注意喚起が出て、3月の卒業式も保護者のみの参加、4月には入学式も規模縮小となり、その後2〜3日の授業の後、休校となりました。7月4日の県南豪雨の



影響としては、生徒の中に肥薩線の利用者が8名、肥薩おれんじ鉄道の利用者が60名で、おれんじ鉄道の代わりに代替バスなどを使いながら通学支援を行っておりますが、生徒たちの学びの保障については生徒・職員も不安を感じています。また、7月下旬より新型コロナウイルスが八代で発生し、保護者や兄弟、友達など感染のリスクを0にすることは難しい状況となりました。また、新1年生においては、本来なら4月は友達を作る時期、8月にはクラス内で信頼関係が生まれリーダーシップが取れる子が出る頃なのですが、今はそういうクラス作りも難しく、三密を考慮しつつ勉強以外のところでレクリエーションなど企画して交流を図っています。また、授業でもグループワークやペアワークを実施していましたが、今は生徒同士での話し合いなどができず、昔のような一方通行型の授業となっています。子どもたちも戸惑いがあり、心のケアの必要性も感じています。

★今こそ、同窓会のネットワークで就活学生に支援の手を

司会…同窓生として、コロナ禍における就活中の大学生や高校3年生の受験生の情報はありますか。

米本…本年度入学の大学生は、現在、進学先や八代に残ったままオンライン授業といった実情です。本当に自分は大学生になったのだろうかという違和感を抱いています。また、今年は各大学のオープンキャンパスもなく、高校3年生に限らず2年生からも不安の声を聴いています。

桑原…就活中の卒業生へのアンケートの結果、就活では本来なら人事の方と会って企業の雰囲気を知るはずなのに今のオンラインでの企業面接で雰囲気を知る事は難しい。アンケートの中には、地元の後輩たちを心配する声も多く、就活で不安な状況の中でも後輩たちをサポートしたいという意見が多かったです。



村山会長…同窓会からも各地区の同窓会より、卒業生が頼ってくるのを待っているところがあります。そこを繋ぐものがあればと思います。

米本…現在、高校の同窓会と就活中の学生とはあまりリンクしておらず、頼るのは大学の先輩。これを機に在校生へ卒業生からの発信ができれば。SNSのグループなどオンライン上のコミュニティを早めに立ち上げてはどうかと思います。

松永校長…今年は大学へのキャンパス訪問ができませんので、各大学へ進学された先輩方に来ていただくか、SNS等で発信していただくなど、同窓生の皆さまにはそういう援助をしていただきたい。八高の先輩がこんなに多方面にいらっしやることを知っている子たちは少ないのではないかと思います。

★同窓生が語る理想の八高生とは
司会…そうした取り組みは大事ですね。是非、今後同窓会で検討していただきましょう。



さて、皆さんにお聞きします。どんな八高生になってほしいですか？

岡村…自分の個性を発揮できる表現者であってほしい。自分の専門的なものだけでなく、いろんな引き出しを持つ。自分を本当に高めていくために、何があってもきちんと発言・表現できる子どもたちを育ててほしい。

柴崎…リスフをとること、自分で選んで行動すること。起業するとかは難しいかもしれないですけど、そういう心意気を持つてほしい。

米本…自分で動く。これからどんな仕事があるかなんてわからない世の中になっているので、自分が好きな仕事を見つけて欲しい。これだけインターネットで情報が入るのに、知らないことが沢山あります。分からないことは自分で調べ、分析し、考えるという力が必要ではないでしょうか。

渡邊…三綱領の2つ目、「自律」。八高には生徒会ではなく生徒自治会がある。八高生は凄いい子もいますが、トータルで見るときにおとなしい。そんな中でも「自律」の精神は持ち続けてほしい。何か学校に対して要望があれば、自治会を動かしてほしい。

作田…自ら考え自ら行動する。人ってずっと学び続けたいいけない。そういう気持ちを持ってもらいたいなと思います。

松永…友人が、入学時はギリギリな成績だったはずなのに、卒業時には早稲田に合格。高校の3年間で能力がグンと伸びる世代なので、自分たちには「可能性」があることを知っていてほしい。今の成績では到底無理だと思っ目標にも、可能性は必ずある、という大らかな気持ちで応援してほしい。

江崎…情報が今沢山ある中で何が本当で何が嘘か。自分自身が心から納得したことを信じてほしい。先生の言葉も本当なのかとか疑ってみるくらい、人の話を鵜呑みにせず、自分で調べ考えられるように。あとは思いやりのある人に。

桑原…学生時代にやりたいことを見つけるのが難しい。やりたいことが決まらないことに焦るよりは、高校時代は身の回りの環境の中でやれることなら何でもやってやる、という気持ちで経験を積んでほしい。

司会…昔の八高生は「バンカラ」という言葉が似合っていた。自分たちの世代は反発心があった。先輩たちと同じ事はしないという想いがあった。今はみんな同じ型にはまっている。そんな精神ならグローバルな世の中、やっていけるのかな、と思います。もつと反骨の精神、たくましさを作っていたいただきたいなと思います。さて、先生方にお聞きします。八高と他校との違いを感じられますか。八高の独自性とは何でしょうか？

★八高の未来に不安無し！ 根付いているグローバル人材の育成

松永校長…八高は一人ひとりの能力が高いので、先生たちも生徒の持てる力の色んなことにエネルギーが注がれています。自分たちの頃よりおとなしいと思うものの、自分で考え行動する力は今の子たちに十分にあるように感じています。現在は思考力・判断力・行動力が根幹の学習指導要領を丁寧に行っています。今は講義のような授業しかできませんが、先生たちの指導の軸にもそれはあります。八高の未来に不安は持っていません。

石村副校長…本校は、グローバル人材の

育成を掲げております。『グローバル人材』の定義は、「どこでも活躍できる。メッセージを持った人材」。そこが根幹にあり、職員はよく生徒たちに「可能性は無限大」と話し、第一志望を貫く指導をするというのが職員の共通理解としています。だから子どもたちがどうやったから諦めないか、前を向ける指導ができるのかに徹しており、そういう文化がこの学校には根付いています。また、中高一貫のブランドデザインでは、授業以外の中進生と高進生の交流が極めて大事だと思っています。その中で互いを認め合い、刺激し合う。その循環ができているからこそ、本校がうまくいっていると感じています。

司会…それでは最後に同窓会長から一言お願いします。

村山…私は学生時代、勉強という勉強をしませんでしたが、学生生活は良かった、と思えるようでないといけないと思います。私は、八高が人生のベースだと思っています。今、私が関わっている組織には全てにおいて同級生も関わっており、幸せだなと感じています。同級生の仲間と毎月集まり、毎年旅行し、毎年学年全体の同窓会をしている。学年の特別な広報誌（23号目）も作っている。同級生あつての自分の人生。八代高校に感謝をしております。





若者と地域を繋げたい 八代まほろばかふえプロジェクト ～これまでとこれから～



プロジェクト内八高出身メンバー

桑原 温乃 (69 回生) 中村 愛香 (69 回生)
古川菜々美 (69 回生) 前田 周作 (69 回生)
湊 愛花音 (69 回生) 西尾 桃佳 (69 回生)
馬淵 寛汰 (69 回生) 田添 彩莉 (71 回生)

ウェブサイト『coco mahoroba』
<https://coco-mahoroba.com/>



八代まほろばかふえプロジェクト（以下、まほろば）は、八高出身のメンバー5名で2019年3月に立ち上げ、現在は八代内外にいる14名のメンバーが一緒に活動しています。ミッションとして、「八代への思い入れを育むこと」「若者が主役になれるまちをつくること」を掲げています。1年目には、高校生から大人まで誰でもフラットに对话を行い、世代を超えた繋がりをつくる『八代まほろば会議』や、若者が自分のスキルを活かしてその日一日自分のオリジナルブースを展開する『まほろばチャレンジストーリー』を開催しました。今年はコロナの影響を受けて対面でのイベントを中止し、人の魅力を通して八代のことをお伝えするウェブメディア『coco mahoroba』の運営や、外部団体・企業様との共同企画に取り組んでいます。

まほろば立ち上げのきっかけとなったのは、八高在学中、生徒自治会の活動の中で『高校生フェスティバルAND OSCOO』に参加したことでした。これは、高校の垣根を越えた八代市内の合同文化祭」というコンセプトのもと、毎年3月のイベント開催に向けて他校の生徒たちと企画運営を行うというものです。在校生の皆様の中にも参加された方がいらつしやるのではないのでしょうか。この活動を通して、親でも先生でもない地域の大人たちや他校の高校生と関わり、個性と魅力溢れる人たちとの繋がりができたことが、私たちにとっての地元への思い入れとなっています。そのような経験から、「大学進学や就職という進路の分岐点の直前である中学・高校時代に地域のひととどう関わったか」が、その人、その地域のその後に大きな影響を与え得ることを感じました。それが今日の「高校生をはじめとする若者を地域と繋げたい」という思いに繋がっています。



若者の人口流出といった地域の課題を解決することは簡単なことではありません。しかし、私たちの活動で大きなインパクトを与えることはまだできていません。しかし、八代に由縁のある方々がそれぞれの場所や立場から、八代を大切に思うこと自体に重要な意味があると思います。

まず。今年7月の豪雨災害でも全国各地の方々が繋がり、多様な形で支援をされていらつしやった姿が、その最たるものではないでしょうか。

八中生・八高生の皆様は、これからそれぞれの夢や目標に向けて様々なフィールドへ羽ばたかれると思います。卒業生の皆様も国内外各地で活躍されています。私たちは、この八代という地域の中でできる経験をできるだけ広く多く提供したり、持っている繋がりを広げたりといったことで、皆様や地域のお手伝いできたと思うています。

最後に、まほろばの活動では、在校生や教職員の皆様、卒業生の皆様にたくさんのご協力やご支援をいただいています。この場をお借りし、心より感謝申し上げます。向こうしばらく続きそうなウィズコロナの中でも、私たちらしい活動ができるよう頑張つてまいります！

関東地区同窓会

大塔宮鎌倉宮・八代ゆかりの神社をご紹介します

神奈川県鎌倉市の鎌倉宮は、後醍醐天皇の皇子の大塔宮（おおとうのみや）護良親王（もりながしんのう）をおまつりした神社です。

八代宮の懐良親王（かねながしんのう）は護良親王の弟宮であるため、鎌倉宮と八代宮は兄弟宮とされています。

そのご縁で鎌倉宮には八代の懐良親王の「お手植えの梅」が移植されています。さらに2018年2月25日（旧）に八代高校同窓会の岡山前会長が中心となり「高田ミカン」の植樹が行われました。



今年8月29日（土）に見に行ったところ、まだ、それほど大きくはなっていないが、元気に実をつけていました。社務所で御朱印をいただいていたら、宮司さんが出てこられたのでご挨拶をさせていただきました。宮司さんは八代とのご縁を大切に考えておられる様で、高田ミカンと梅の生育状況その他のいろいろな話を聞かせていただきました。（ミカン



の写真は、宮司の小岩様よりご提供いただきました。）

関東で熊本ゆかりの地はたくさんあるようですが、八代ゆかりの地となるとなかなか見つかりません。

古都鎌倉の「鎌倉宮」とのご縁は大切にしたいと思います。

同窓会入会式に出席して 会長 勝井梅子（高21回卒）



2月29日八代高校同窓会入会式に出席しました。コロナ拡散で卒業式が出来るか？という時期に実行していただき感謝いたします。

当日は、バリトン・テノールカウンターテナーで活躍中の本岩孝之（高34回卒）のサプライズ参加で卒業生との交流があり皆さんの心の奥に素敵な思い出として

深く残ったと思います。

ただ、今日日本中が厳しい状況にあり、あの時多くの夢と希望に満ち溢れていた卒業生達はどうしてるのか？ 胸が痛いです。来年は、関東地区同窓会が無事に開催されお会いできる事を願っています。

私たち関東地区同窓会は、関東一都六県とその近県の卒業生、旧職員等を会員として活動しています。

会員はおおよそ2千4百名で、学年幹事を開催して運営しております。

活動は「総会・祝宴」「倶楽部活動」等を行っており、ホームページ、LINE等を使い分けて情報交換し、交流の充実を図っております。

倶楽部活動

例年、ゴルフやスポーツ

観戦、観劇、鑑賞会、飲み会などを行っています。

しかし今年は、コロナ自粛のため各種活動ができず、ひたすら巣こもり生活をしており、開催できたのは新年会だけです。新年会の時点では、インフルエンザの心配はあり



ましたが、まだ新型コロナウイルスの話題はそれほど出ておらず、楽しく旧交を温めることが出来ました。

総会・祝宴

関東地区同窓会の総会・祝宴は、例年9月に行っておりますが、今年は役員、当番幹事等で検討してコロナ禍の東京で開催するのはリスクが大きすぎるとの判断で、中止といたしました。皆で上野精養軒のハヤシライスを食べられないのは残念ですが、我々がクラスターになるわけにはいかないので我慢です。

ウィズコロナ時代になってしまった以上は、特効薬やワクチンの開発、治療法の確立などが出来るまでは、集会等は控えるべきと考えられますが、オリンピックを機に事態が好転することを期待し、来年の総会・祝宴、各種活動の準備をしていきたいと考えております。

通信・連絡

関東地区同窓会のホームページ「八高関東どつと混む」は、各種ご案内・報告事項などを掲載しております。[http://www.85kantou.com] にアクセスしてご覧ください。

また、活動のお知らせや結果の写真などはfacebook [https://www.facebook.com/85kantou/] に随時掲載しております。

関東地区の総会・祝宴や倶楽部活動は関東地区以外の方もご参加いただけます。情報等はホームページやfacebookをご覧ください。ご希望がございましたら、お問合せください。

広報担当 立居場誠治（高29回卒）

関西同窓会

事務局便り

令和2年度の総会&懇親会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の影響で開催が中止され、会員の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。

次回は令和3年6月5日(出)、大阪市此花区のホテル京阪ユニバーサルタワーにおいて開催を予定。会員皆様のご出席をお待ちしています。

事務局長 新村 守 (高49回卒)
☎0901787813202



八高関西同窓会は35歳になりました！

一代目会長 宮崎正郎 (高14回卒)
八高関西同窓会は、関西の地に於いても城南の雄として存在しています。同窓会結成年度は八代東や八代工(両高共に甲子園出場時に結成)に後塵を被りましたが、現在は熊本市内の高校に對抗できる唯一の組織に飛躍し、城南地区の各高校が八高の傘下に集っています。

結成は昭和60年10月。初代会長故黒田敏明氏(3回生)のもとで発足。下級生が上級生を慕い尊敬する1本の大きな絆

と、他校は「〇〇高関西地区同窓会」と呼称する事が多いなか、あくまで「はちこう」にこだわりと愛着を感じる「八高関西同窓会」との名称が誇り。

総会&懇親会には、伝統校としての講演会を入れる。元防衛省統合幕僚長の折木良一氏(20回生)や気象キャスターの平井信行氏(38回生)。故坂田道太先輩の伝記の著者国際政治学者ロバート・エルドリッジ博士の登壇等、友好団体や城南会からのゲスト出席者に羨望される講演内容。ゲストの土産には東陽町の生姜の味噌漬けと日奈久片山の竹輪のセット。講演会、土産ともに大好評。

35年の歴史の中で産まれた「城南会」。熊本市内の高校同窓会に比べて、八代東、八代工、秀岳館も個々では小さい組織。そこで八高が中心になり、宇土高校以南の高校との交流会(春、秋の年2回、懇親会、ハイキング、ゴルフコンペ)を開催。そこで八高関西同窓会のノウハウを伝授。組織拡大に努めている。



令和2年度役員新年会 (店名:八幸・はちこう)

ちました。令和2年度の総会&懇親会は、コロナの感染拡大防止で開催出来ませんでした。令和3年度には三代目新会長が誕生します。会員の皆様! 八高関西同窓会はこちらから躍進を続けます。ご期待下さい。

大和路ハイフで季節の移ろいを...

新村 孝 (高17回卒)

大和路ハイフは、春は桜の季節に、秋は紅葉の季節にと、大和路がその姿を一番美しく見せる時期に開催されています。今春の第26回例会は、女人高野の室生寺と大野寺の観桜に訪ねました。

会員は、池田先輩や北九州市に在住の橋田先輩達の3回生を最年長に、東海の10回生滝先輩、16回生の清原先輩などの遠来組と、城南会からの参加者で約30名です。

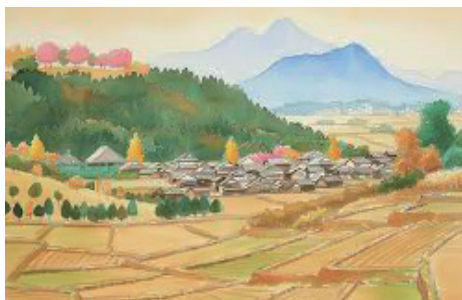
ハイキングの冠には「大和路」と名付けられ、訪ねる先は「奈良県」に限定されていますが、これまで一度だけ県外に出たことがあります。当尾の里(浄瑠璃寺↓岩船寺)は地図上京都府ですが、出発地が近鉄奈良駅でしたから例会のコースに組み込まれました。

大和路は、

何処を訪ねても古代の歴史とロマンに溢れた地です。

これまでに訪ねた万葉の里明日香村。いにしへの古道

山の辺の道。花の斑鳩の里、長谷寺、般若寺、阿部



晩秋の明日香村

文珠院、大和郡山城。西の京の薬師寺と唐招提寺。これから訪ねる先も無限です。春、秋の季節には、古代の風に触れに大和路ハイフにご参加下さい。奈良の地でお待ちしております。

ニアピン賞ねらいで楽しんでます!

押方克郎 (高11回卒)

第53回城南会コンペは、令和2年4月9日に神戸市北区のダンロップゴルフコースで開催されました。

このコンペに参加した当初は、11回生も高光、青木、久保田、押方とメンバーが4人もいましたが、その後高光君が亡くなり、青木君が体調不良で、現在は久保田君と二人だけの参加になりました。



第53回例会 ダンロップゴルフコース

コンペの例会は、春と秋の年2回開催されます。4月は1日、10月は宿泊付きで2日間です。参加者は八代東、八代工、秀岳館、人吉高からもゴルフ愛好者がエントリーをされ、各校の対抗戦も意識されて毎回熱戦です。私は上位入賞よりも、毎回ニアピン賞ねらいで楽しんでいます。

ゴルフは、自分のリズムで全身を使いますから、足腰共に丈夫で、高齢者としてのハンディを受けずに、傘寿を迎えられました。これからも積極的にコンペに参加して、同窓生や城南会の皆様と交流を続けながら、余生を楽しみたいと思っています。

東海同窓会

楽しかった世界遺産「五箇山」への
日帰り交流会

広報担当 村田 護

東海同窓会は設立6周年を迎えました
が、今年は新型コロナ禍のため4月に予
定していた総会・懇親会も中止となり、
例年秋に行う日帰り交流会もできなくな
りました。そこで、昨年12月に開催した

「日帰り交流会」を
ご紹介します。

合掌造りの前で

令和元年も終盤の
12月8日(日)、恒例の
八代高校東海同窓
会・日帰り交流会が、
合掌造りで知られる
世界遺産「五箇山」(こ
かやま)を訪ねて
開催されました。25
名の参加者を乗せた
バスは、好天に恵ま



れ8時過ぎ名古屋駅を出発。遠くに冠雪
した「御嶽山」「乗鞍岳」「大日ヶ岳」を
見ながら、一路五箇山合掌の里へと向か
いました。バスの中ではビンゴゲームを
楽しみ、後部座席サロンはアルコールで
盛り上がるなか、雪景色の五箇山合掌の
里へ到着しました。

五箇山は富山県の南西端、岐阜県境に
位置し、1995年に岐阜県の白川郷と



ささらを持って
「こきりこ節」を舞う当主



一緒に合掌造りの集落が「世界遺産」に
登録されました。二つの集落(相倉と菅
沼)があり、私たちが訪れたのは菅沼で
す。集落の主だった箇所を散策し、山下
家で岩魚の塩焼きなどの食事。塩硝(煙
硝)をいろいろにくべる実演や、当主が民
俗楽器「ささら」を持って民謡「こきり
こ節」を踊ってくれました。塩硝は加賀
前田藩の財源でした。またここは加賀藩
の流刑地。復元された流刑小屋なども見
学し、お土産を買いこんで帰路に。帰り
のバスはカラオケ大会になるなか、18時
頃無事に名古屋駅に帰り着きました。

岡山同窓会

岡山(同窓会)のこれまでとこれから

江島敏子(高18回卒)

岡山では、昨年まではほぼ毎年、6月
初頭の週末に「岡山同窓会」を開催、県
内の八代高校卒業生のみならず、本部か
らの同窓会会長や校長先生、隣接県同窓

生の方々にもお越し頂き、賑やかに旧交
を温めて参りました。

そんな「岡山同窓会」も、流石に今年
の決行は厳しく、来年の再会を楽しみに、
コロナと猛暑に耐える毎日です。

そんなコロナ禍の中ではありますが、
岡山での昨今をお伝えさせて頂きます。

岡山県の観光

●瀬戸内国際芸術祭2019

4回目の開催年だった昨年は、世界中
から、実に大勢のインバウンド観光客が
岡山県を訪れました。

メイン会場の香川県直島や豊島・小豆
島方面へのアクセスが便利なカーフェ
リーや貨客船を有する県南端の港湾都市
「玉野市」の宇野港には、それら瀬戸内
の島々の会場に向かう大勢の観光客で、
賑わいを見せました(芸術祭全会場来場
者数:118万人)。



そんな昨年は、玉野市観光ボランティア
アガイドの会「つつじの会」メンバーの
私にとって、海外からの観光雑誌記者へ
の応対や、宇野駅や宇野港での大勢のイ
ンバウンド観光客の対応に、忙しくも学
ぶことの多い、忘れられない年となりま
した。

参照: <https://www.youtube.com/watch?v=hMISMQZUK7s>
瀬戸内国際芸術祭2019 (SETOUCHI
TRIENALE) in 宇野港周辺【総集編】

<https://www.city.tamano.lg.jp/> (玉
野市HP)

●クルーズ船入港おもてなし@宇野港



又、同観光ボラ
ンティアガイド
の会は、ほぼ隔月
宇野港に入港す
る国際観光クル
ーズ船の乗客
を、音楽や日本の
伝統クラフトで
歓迎する「おもて
なし活動」にも努
めて参りました。

入港歓迎イベントの一つ、演奏では、
「Grove Unity Jazz Orchestra (アマ
チュアビッグジャズバンド) メンバーと
して、又ユニット「八高s*注」として、
海外からのお客様に、ジャズの名曲や日
本の楽曲まで楽しんで頂くべく、励んで
参りました。

参照: <https://www.facebook.com/tamano.kanko/> (玉野市観光協会face
book ちゃん)
<https://www.facebook.com/tamano.kanko/photos/a.98371050809/1246260462192482/?type=3&theater>



*注…「八高S」

クラシックギター奏者の澤江隆一さん
(22回生…今年春まで岡山理科大学数学
教授)との音楽ユニット。



6年前の岡山同窓会での初対面で、お互い楽器演奏が趣味と知り、岡山理科大学の学園祭に出演、海外で開催の数学学会にまで同行し、そのレセプション会場での演奏や訪問先観光地でのストリートライブまで体験。

この春から画策の「勝手に全国ツアー」は延期に。最近再開されつつある近隣地区での小規模イベントに出演。

最後になりましたが、

吉田高範氏(18回生、S.41年卒)の
逝去



1978年発行の同窓会名簿を下に、岡山在住卒業生の一人一人に連絡を入れ、翌年には「岡山同窓会」を立上げ、常にリーダーとしてメンバーを導き、その企画/運営を担ってこられた氏が、昨年の同窓会開催前日の6月1日に逝去されました。

岡山同窓会は、コロナ禍の中とて、一周忌に伺うこともできないままの状況下にありますが、氏のご尽力を無にすることなく、終息後の元氣な再開と楽しい再会を目指して、久保田壽一新会長を始め会員一同、これからに向けて、しっかりと歩みを進めて参る所存です。

個人としても、八代よりお越しの皆様のお役に立てるよう、又、次回の瀬戸内国際芸術祭2022への参画も叶うよう、健康と環境の維持と継続に努めて参ります。

広島県同窓会

村田栄治(高28回卒)

今年は新型コロナウイルス感染症の拡大により、本部同窓会を始め、全国の同窓会が中止を余儀なくされました。広島県同窓会も、残念ながら、中止とさせていただきます。

加えて、去る7月4日に発生した豪雨災害は、故郷熊本に大きな被害をもたらしました。この場をお借りして、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々に哀悼の意を表させていただきます。

さて、私事ですが、今年7月から人吉市で生活しております。引越して一週間ほど経ったところで、この豪雨災害に遭遇しました。そこで、今回はこのコ―



球磨川と胸川の合流地点の様子。
右側が人吉城址。奥のビルが球磨川右岸の旅館。

ナーの趣旨からは外れますが、被災地の状況を少しお伝えしたいと思います。

7月3日の夜半から強さを増した雨の音とスマホに入ってくる緊急速報などの情報で、ほとんど眠れない一夜を過ごした私は、4日早朝には職場のある多良木町へ向かいました。しかし電話も通じず、インターネットも使えない状況で、テレビで初めて人吉市や球磨村、芦北町そして坂本町の情報を知ることになりました。

夕方、人吉市に戻りましたが、携帯電話が繋がらず、外部とは全く連絡が取れない日が約一週間続きました。

人吉市街地の様子を見ることができたのは、7月8日の夕方でした。

川の水が引いた直後の街の様子は、津波被害を受けた後のような、目を覆いたくなるような惨状でした。つい数日前には川沿いの道を散歩しながら、のどかな街並みや挨拶をしながら通り過ぎていく中学生の姿を眺めていたことが、まるで夢だったのかと思われるような、変わり

果てた姿になってしまいました。清流球磨川は、川沿いの住宅や田畑を遍く押し流す暴れ川に豹変し、多くの方々の命も飲み込みました。球磨川の清流は、その後一か月は戻りませんでした。

現在は、街の中心部からがれきは取り除かれつつありますが、まだまだ日常を取り戻すには時間がかかりそうです。人吉市は観光経済の街でもあります。川沿いの老舗旅館は大きな被害を受け、完全復旧は来秋ではないかという声も聞きます。球磨川下りの発船場も大きな被害を受けました。肥薩線は八代吉松間で運休が続ぎ、球磨川を渡る鉄橋には、現在もがれきが引っ掛かったままとなっています。

くま川鉄道では、鉄橋が流出し、線路も洗堀により、被害を受けています。



生活の基盤となるインフラの復旧には、さらに時間がかかりそうです。

そして、今回の災害は、私の生まれ故郷である八代市坂本町も襲いました。国

道219号は至る所で寸断され、橋も流され、中学・高校の同級生の家屋も大きな被害を受けました。実家へ帰れたのは、高速道路の坂本パーキングからの出入りができるようになってからでした。JR肥薩線坂本駅や坂本支所(旧坂本村役場)も浸水し、国道219号と支所を結ぶ坂本橋も流出しました。球磨川沿いの病院も商店も悉く被害を受けました。

そんな中、県内から多くの方々が、猛暑の中、ボランティアとして被災地に入り、復旧の力として大活躍していただきました。心からお礼を申し上げたいと思います。

現在、地元では、川辺川ダム建設の議論が再び始まっています。ダムを建設し、鉄道や国道を現在地で復旧させるのか、ダムに頼らない治水を継続し、鉄道や国道は嵩上げ或いは付け替えで復旧させるのかなど、いくつかの選択肢が考えられるようです。いずれにしても、恐らく、復旧にはかなりの時間を要することになると思われます。

その頃、再び被災地に笑顔と活気が戻ることを祈って、少しでも地元に貢献していきたいと考えています。同窓生の皆様のご支援もよろしくお願いいたします。

大分同窓会

ICANノーベル平和賞受賞で
オスロ旅行に参加

田河清一 (高13回卒)

ノルウェーのオスロにて、2017年12月10日にノーベル賞受賞イベントが盛大に行われました。女房は長崎被爆者で、その団体の中で世界平和創世のため、核

廃絶運動に挺身してきました。その結果がICANの平和賞受賞だと思っています。

ノーベル平和賞を受賞するという実を結んだICANの活動は、主に日本の被爆者の方達が世界中へ核廃絶のために、証言旅を行い、非常に重大で困難な活躍をされた結果だと思っています。

ICANの会長は外国の人ですけれども副会長で事務局長である日本の川崎さんという方が大変な努力をされて来ました。長崎、広島、被爆者団体の方々の努力は苦難の道でもあり尊い活動の連続であつたでしょう。

女房がノーベル平和賞受賞式へ行くことになり、私も同伴できたのです。

一連のオスロでの受賞イベントに参加となりました。思いがけない一生に一度の体験旅行となりました。

2017年12月7日に日本を発つて13日に帰って参りましたが、その間、種々なイベントに参加いたしました。

①オスロ市内にあるノーベル平和セン



ター内でのノーベル平和賞受賞者の展示見学、世界中にある、核弾頭の設置施設の写真展示見学。

②授賞式本番のイベント会場での式典をリアルで見られるビューイン



グホールに参加。

③授賞式の夕刻からはオスロ市内を平和行進して祝賀。パーティ会場へ向かいま

した。

④オスロ大学での「原爆の樹の種」贈呈

式。広島市長、長崎市長からオスロ大学学

長へ。

⑤コンサート大ホールでの世界のミュージシャンによる祝賀音楽祭。

⑥ムンク美術館見学。「ムンクの叫び」を生で鑑賞しました。

⑦世界核廃絶センターでの講演参加、講義

⑧オスロ市庁舎訪問。

⑨女房が現地テレビの取材で長崎原爆の体験が一日中放映されました。

以上簡単に書いてきました。私が感じたこと。「長崎に縁あつて、女房が長崎で被爆したこと。今回の貴重な体験を積んだことが不思議な時間と場所を越えて、線で繋がったことが思い起こされたのです。

それは、長崎原爆の日に八代郡鏡町の郷里から、八代海の遥か向こうの島原普賢岳の上にキノコ雲を見たからです。」

戦争も平和も人間の心の中に生じて来るものであると、改めて感じたことでした。

小さな旅

松本宏次 (高15回卒)

八代を離れて、もう50年超える。ふっと思ひ立ち八代旅行(？)

中学生の頃家族で行った昔の記憶をたどり宿泊した、旅館をグループでさがす。球磨川沿い。開業したばかりの温泉旅館。

あった。鶴之湯旅館。

八代駅から、肥薩線の鈍行に乗る、球磨川の沿線の景色、頭の中を時間がめぐる。葉木駅から、球磨川のせせらぎの音を聞きながら歩くこと12、3分。目の前に、木造建築の大きな3階建。

昔、かに族、こんな風情のある旅館、わくわくする。

今日は、お客は3階の球磨川沿いの部屋に一人、私だけ。

廊下から見下ろす川には、いつも夕方、山セミが、飛んでくると言う。じーっと目をこらし耳を澄まし鳴き声を楽しみに待ったが、残念ながらお休み。

旅館の下の淵は温泉が湧き出ているので、餌を求めて、ヤマセミが飛び回り、時には勢いで、窓にぶつかり、ガラスが割られると言っていました。



温泉に入り食事は、見事な尺鮎。ほぼ40分かけて焼あげられた逸品、あと目の前の球磨川でとれる山太郎ガニ、地元野菜等として、球磨焼酎で、優しい食事がいただけました。



夜は旅館の横を汽車が通過する。

日常と違う別の世界がありまして。旅が好きな人にはおすす。小さな旅でしたが、走馬灯のように、10代から現在までの時間空間を楽しめました。

この、私の小さな八代の旅はこれで終わりと思っていたら、先日2月11日の八高大同窓会の席で、ナントこの旅館の経営者は八高19回生と村山忍同窓会会長から、お話を聞きでビックリ。八高卒の大きな広がりを感じました。

もっとも、これを知ったのは、同窓会に出たことで分かったことですが、同窓会に感謝。また、いけるかどうか分からないが、今年も坂本の「ぼた餅祭り」においでと誘われているので、行ってみたいとも思う。

この「ぼたもち」は地区の人たちが作る逸品です。

毎年11月第2日曜日 今年11月8日予定でしたが、今回の球磨川の氾濫で坂本町も壊滅的被害を受けられているため、この「ぼたもち」が食べられる、坂本ふるさと祭りは中止ですが、ぜひ坂本の復活時には、「ぼたもち」を食べに「坂本ふるさと祭り」に出かけて楽しんでください。

又、3階建て木造温泉旅館「鶴之湯旅館」は、インターネットで確認すると支持者皆さんの協力で囲まれて、そのままありました。線路脇の旅館でその横がトンネル、鉄道写真が好きな人には、貴重な旅館です。多分、今度いくときには露天風呂が出来ている、ことと思います。この旅館の若き経営者も、坂本ふるさと祭りには、なにか出店すると言っていました。

長崎地区同窓会

一歩前進・・・第4回同窓会に新風！

徳永哲郎（高27回卒）

「リン・リン」1月中旬、自宅に一本の電話があった。「初めまして、Nと申します。八高出身で長崎大学の4年生です。長崎地区同窓会が2月1日に開催されることを知り、卒業記念にぜひ参加したいと思い、電話しました。参加できますか？」とのこと。うれしい便りで

ある。二つ返事で承諾し、参加していただいた。年配者（失礼！）が多い中に、新風を吹かせてくれたN君に、今更ながら感謝である。コロナ蔓延が続く東京に就職というこ



と、元気でいるだろうか？

N君の飛び入り参加で盛り上がった第4回同窓会。コロナの兆しもなんのその！常連組そろって参加のもと、予定通りに2月1日に開催できた。今回は、「写真で見る八代市クイズ」を実施。写真を通して、郷里八代の様子を垣間見た。その中から一例を紹介したい。

○食べ物問題です。

JA八代がブランド品として売り出しているものに「はちべえトマト」がありますが、新八代駅にはJR九州で3年連続人気No.1になっている有名な駅弁があります。さて、その駅弁の名前はなに？



○名勝地（観光地）の問題です。

球磨川河口の堤防から50mほど離れた所にある小さな島です。万葉集や枕草子の題材にもなった学術的価値と独特の自然現象である不知火の観賞価値が評価され、平成20年に国指定名勝となりました。自然の神秘が味わえる絶景スポットとしても親しまれています。さて、ここはどこ？



さて、第5回同窓会は、2月6日(出)に予定してはいるが、開催に悩む昨今である。最終的には、12月初旬に決定し、会員の皆様に連絡したい。会員の皆様、くれぐれも御自愛のほどを！

学年より

高3回卒 昭和26年卒

戦禍の日々

西村謙一

私は第3回八代高校の卒業生で、「くらいも会」の会員である。「くらいも会」については、級友野々口哲朗君が「道」第11号に詳しく紹介しているので、今回は私の個人的体験を記そう。

私は1945年（昭和20年）3月旧制八代中学に入学した。入学試験前日だったと思うが、受験生全員が空襲の避難演習をさせられた。その頃までは、八代市は1、2回敵機の空襲があったが、損害は軽微であった。しかし、東京は既に大空襲で焼かれていた。私達の避難場所は、確か「奉安殿」の近くの防空壕だったと記憶している。今の若い人たちは「奉安殿」と言っても理解できないだろうが、そこは極めて神聖な建物であった。中には今上天皇と皇后の写真（「真影」と言った）が安置され、それと教育勅語が置いてあった。奉安殿は全国の学校に建てられてあった。

中学の授業が4月から始まったが、やがて4、5年の上級生は軍需工場に動員され、3年生以下の生徒は日常の授業は中止され、地域毎に分けられ、農家の手伝いや山の開墾に従事させられるようになった。

日本の多くの都市が空襲で焼かれるようになったが、八代市は夏になるまで空襲を受けなかった。初夏の頃だったと思うが、空襲警報が鳴り、戦闘機6機が縦列を組んで肉眼で見える距離に飛来した。初めて見る敵機である。ああ、敵機

かと見ていると、最初の機がピカーと光ったかと思うと、突然急降下して爆弾を投下した。そして続く機が順々に急降下して、爆弾を放った。私はこのような攻撃を初めて見たが、離れていたから恐怖よりもこの整然とした行動を見事だと見とれていた。

真夏に近くなると空襲警報がよく鳴り、遠くの空にはいつもB29の姿があった。

8月9日、その日は晴天で暑い日であった。宮地の山で開墾作業をしている時、昼少し前雲仙岳の方を見ると、真っ白い大きな雲があるではないか。

青空に雲がはつきりしている。その形はキノコ状で中央部がピンク色である。丁度、最近物理（物象と呼ばれていた）で、雲を習ったので、物理の先生になんという雲かと尋ねてみた。先生も分からないと言った。誰もがその時には原子爆弾とは知るよしもなかった。その雲は3時頃までにキノコ状から横に広がっていった。家に帰って初めて、新型爆弾と知った。原子爆弾投下時の光と音は感じなかった。

原子爆弾投下の前か、後の日か思い出せないが、近くの爆弾投下に遭遇した。その日も宮地の山の開墾の帰り、私は太田郷小学校の近くの川の所に来た。小学校に陸軍が駐在して、空を見上げる櫓が建てられていた。櫓の上に兵隊が一人登り、周囲に響き渡るマイクの音量で状況を報告していた。空襲警報が鳴り、近くの敵機が襲来して来た。もうその頃は空襲警報は敵機が来たら発せられるようなことがしばしばあった。私は急いで近くの民家の防空壕に入った。櫓の上の兵隊は、「敵機襲来」と叫んでいる。他の兵隊達は皆防空壕に避難しているのに、

櫓の上の兵隊は無防備で可哀想だと思った。私が防空壕に入るとすぐ非常に大きな音がして、防空壕の壁が落ち、防空壕が揺れ動いたように感じた。櫓の上の兵隊が、「製紙会社、爆弾投下」と叫んだ。2、3発は爆弾が投下された模様である。製紙会社は、100m程度しか離れていない。危ないところだった。もう少し爆弾投下の場所がずれていたら命がなかったかも知れないと思った。

家に帰っても厳重な灯火管制で、明かりは点けられない。それに庭の防空壕に寝なければならなかった。蚊が多く、どのように防御したかは思い出せない。8月10日か、11日の事だったと思う。西の空が真っ赤になった。あきらかに火災である。聞けば熊本市が空襲を受けて炎上していると言った。

幸いにして八代市内の大火災はなかった。8月15日、終戦の詔勅があったが、その意味が分からなかった。友人が来て、休戦の詔書と教えてくれた。しかし、「敗戦」「無条件降伏」の意味を理解するには、2、3日かかった。日本の旗色が悪くなくても、日本は必ず勝つ。必勝の信念こそ大切だと教えられ、作戦としては、敵をおびき寄せ、本土に上陸させて一気に勝利を得ると信じ込まされていた。軍艦が皆無に近い事実が隠され、密かに集まって訓練されていると説明されていた。敗戦の事実を知らされて、国民のショックは大きかった。

敗戦から米軍による占領、ミズーリ艦上の降伏調印式と時代は、急速に変わっていった。9月から、中学の授業は再開されたが、食料がなく、昼弁当は、「くらいも」2個で生きてゆかねばならなかった。戦後の生活については、機会があれば記そう。

高4回卒 昭和27年卒

米寿祝同窓会来春に開催予定



石坂直行
いになな会米寿祝同窓会を今年6月に開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染が各地に拡大して緊急事態宣言が全国に発令され、解除後も集会や外出自粛などが要請されて中止しました。

同窓会の中止を主に八代市郡に通知した後に反響が大きく、電話やお手紙をいただき大変残念がっておられるのを痛切に感じました。コロナが終息してからぜひ開催してほしいとの要望が多く、事務局ではこの熱望に応えるため、来春に可能な限り開催する予定です。

幾年過ぎても会えば青春時代にタイムスリップ。心浮き浮き積もる話に花を咲かせて米寿を祝いましょう。

最後の同窓会となりますので状況が許せばこの機会にぜひご出席ください。開催を前提に日時等を掲載していますのでご覧ください。

案内状が3月末日までに届いていない方で出席を希望される方は早急にご連絡ください。折り返し案内状を送ります。



にいなな会事務局は「友情の絆」として存続しますので垣田照子様か私にいつでもお気軽にご連絡ください。
皆様方のご多幸を祈念いたします。

八高4回卒 にいなな会 米寿祝同窓会のご案内

日時：令和3年4月16日(金) 12時30分
会場：セレクトロイヤル八代
会費：7,000円

問い合わせ先：

垣田照子 0965-3317071

石坂直行 0965-3416836 (不在の時は留守電へ)

高10回卒

昭和33年卒

平家物語 沙羅の花を求めて…

平家物語の冒頭文には「祇園精舎の鐘の聲、諸行無常の響きあり。娑羅双樹の花の色、盛者必衰の理をあらはす…」と書されている。

京都市右京区花園の妙心寺塔頭東林院では、毎年6月15日から6月30日まで「沙羅の花を愛でる会」が方丈庭園を特別公開。庭園には約30本の沙羅の木が植えら



れ、梅雨の頃には白い椿に似た花を咲かせる。朝に咲き夕には散るところから別名「一夜花」と云われ、庭に散った風情も美しい。

関西三三会の恒例バスツアーは、令和2年度のコースに東林院を訪ねる予定であったが、コロナの感染拡大防止の影響で今年度のバスツアーを中止。改めて令和3年6月21日(月)・22日(火)に同院を訪ねる予定。

仲良し10回生の集いも、高齢化にともない年々参加者が少なくなったが、元気を求めに6月は是非京都に集い下さい。

世話人 橋口敏昭
☎0901567416461

高20回卒

昭和43年卒

古希の宴

島田良治



60歳、65歳として、今回「古希の宴」と銘打って11月22日(御夜)に行った70歳の同窓会。県内外より115名もの多くの仲間が集う。会場には高校時代からの写真の展示。開会前から雰囲気は和む。亡くなった友への黙祷の後、開会の挨拶に続いて乾杯。

一気に各テーブルが盛り上がる。スワリンには時代を追ったスライドが流れ、各場面で当時を懐かしんだ歓声が上がる。料理をつまみ酒を交わし、久しぶりの再会に会話が弾む。楽しい時の過ぎるのは早いもので終焉が近づき「道」の斉唱。歌詞に沿った故郷の情景を編集したビデオを見ながら全員が大きな声で歌い最高に盛り上がり閉会の時。仲間の健康を願い万歳三唱。二次会の会場「白馬」へと移動の途中で妙見祭の前夜祭の催事を見学。二次会では名残を惜しむかのように語り足りない時間をさらに過ごし、楽しく素晴らしい同窓会をお開きとした。

高39回卒

昭和62年卒

卒業33周年同窓会

早川智浩

2020年1月2日 八代ホワイトパレスにおいて、熊本地震の影響で行っていなかった卒業30年の同窓会をようやく開催できました。

この時、本当に無理にでも開催して良かったと思っています。

まさかコロナウイルス感染症がこんなにも広く蔓延してしまい、大人数の集まりが制限されるとは当時夢にも思っておりませんでした。

更に7月4日の水害はこれに追い打ちをかけることになり、八高関係者、同窓生で被災された方もあり、心よりお見舞い申し上げます。

当初企画より遅れて開催した同窓会、実際は卒業33年となってしまうことが、川島秀行先生、高野茂先生もご参加頂き、110名が楽しいひと時を過ごしました。

八代高校 昭和61年度(高39回)卒 同窓会



ました。

久しぶりの再会がよほど楽しかったのか、2次会も予定より大幅に増えて87名の参加があり盛況でした。

盛り上がりすぎて5次会、6次会まで行った強者も居たとのこと、参加者に喜んで頂けて本当に良かったと思います。

私どもの年代になると定年退職という概念が無くなり、還暦同窓会以降も現役サラリーマン、経営者が多くなると言われます。生涯現役という言葉が言葉の上だけでなく、現実のものとなり、いくつになっても派手な同窓会が開ける事を夢見て、同級生の今後の活躍と、コロナウイルスの鎮静化、水害からの早期の復興を祈りたいと思います。

頑張ってます

元CA、保険会社勤務で 全国を飛び回っています

下野 恵さん（高57回卒）

私は2005年3月に八高を卒業し、インターナショナルエアアカデミーに入学、在学中に国内線の客室乗務員（CA）合格し、航空会社に入社しました。

2009年11月には客室の責任者である先任客室乗務員資格を取得、2015年3月にはOJTインストラクターの資格取得し、実機教官としてCAに対して教育・指導を行ってきました。その後、グループコーディネーターを就任しましたが、2017年10月に会社を退職、そのままプルデンシャル生命保険へ入社しました。プルデンシャル生命保険は、世界最大級の金融サービス機関です。私は、この会社で、ライフプランナーとして、生命保険や資産運用、相続等に関して、お客様の一生に寄り添ったオーダーメイドのプランを提供しています。

国内線客室乗務員として11年間在職し、内8年間は客室の責任者である先任客室乗務員として乗務しました。緊急着陸も経験し、チームワーク、臨機応変さ、諦めない心を学び、どんなイレギュラーにも対応できることが大事であると学びました。外資系プルデンシャル生命からヘッドハンティングを受け、『どうしたらお客様の役に立てるのか』本気でお客様の人生と向き合い、たくさんの方に笑顔あふれる人生を送ってほしいという想いで転職し、現在に至っています。生命保険や資産運用など一人一人に合わせたオーダーメイドのプランを提供し、本当の保険の良さや価値を知って頂くことで「下野さんが担当で安心」と言ってもらえているよう、今後も日々成長し続け、多くの方に喜んで頂けるよう、全国を飛び回っています。

7月豪雨、炊き出しボランティアに参加して

金森尚子さん（高32回卒）

九州南部豪雨災害が起きた7月4日の翌日5日、ボランティア団体であるNPO法人ピース・プロジェクト（AARジャパン協力）が被災地入りして千丁コミュニティセンターを拠点に炊き出しボランティアを始めました。

たまたま同級生の一人がピース・プロジェクトのメンバーだったご縁で、私

ち32回卒有志も6日から炊き出しボランティアに参加。その後、SNSや口コミでたくさんのお窓生や近隣の主婦の皆様のご協力を得ながら、当初2名からスタートしたこの活動も最後の週には20名近く集まるようになりました。

「自分ができる時にできるだけのお手伝い」ではありましたが、ピース・プロジェクトのメンバーの素晴らしいリーダーシップのお陰で、ほぼ毎日、千丁コミュニティセンターに50食、芦北スайдームに100食の温かい夕食を提供することができました。

被災者の皆様からいただいた「いつもありがとうございます」「美味しかったよ」「毎日楽しみにしています」などの言葉は、私たちの励みとなりやり甲斐にも繋がったように思います。とても良い体験をさせていただきました。

新型コロナウイルスを懸念して7月いっぱい炊き出しボランティアも一旦終了となりましたが、機会があれば是非また集まりましょうと同窓生もまだまだやる気充分の様子でした。

最後になりましたが、被災された皆様、さぞお心を痛め辛い毎日をごさねたことと思います。復興の道はまだ半ば、どうぞ今後も身体に気をつけてお過ごしください。



ミュージシャンとイラストレーター 同級生同士のコラボで CD誕生。

三輪真理さん（高36回卒）
緒方慎二さん（高36回卒）



2013年の秋、一通のメールが届きました。「はじめまして。私は現在オーストラリアに在住しています。とても心地よい音楽ですね。CDアルバムを購入したいのですが、どのようにしたらいいのでしょうか？」

級生の緒方慎二さんだということがわかりました。緒方くんはオーストラリアのブリスベンで画家をしておられますが、実家に届いた八高の同窓会案内からネットを検索し、たまたま私のブログを見て連絡をくれたようでした。私は広島在住で自分の音楽活動の一環としてブログを書いていました。

30年ぶりでした。緒方くんと私とは幼稚園時代からの幼なじみ。当時から私は

ピアノが好きで、緒方くんは絵が好き。小さい頃から好きだった道にお互い進めたことを共に喜び合いました。ただ私自身は一直線に音楽の道を選べたわけではなく、紆余曲折の末ようやく音楽を仕事の1つにできるようになった頃でした。こうして年明けの学年同窓会で私たちは嬉しい再会を果たしました。

さてその翌年のこと。縁あって東京のプロミュージシャンの方から一緒にCDを作りませんかというお話をいただきました。私のオリジナルCDです。ジャケット画は、という時、ふと緒方くんのご頭が浮かびました。緒方くんに相談するとすぐに快諾。メールやスカイプで話すうち、スカイプを使って描いた私の肖像画をジャケット画にしては？ と緒方くんからの提案がありました。

春のある日、広島の実家のパソコンの前でポーズを取る私をブリスベンで緒方くんがスケッチし、その肖像画がジャケット画になりCDは完成しました。冬には緒方くんの初の日本での個展と私のライブを八代と広島で開催。海を越えて同級生と互いの特技で一緒に作品作りができて、感無量でした。



三輪真理さんのオリジナル曲の入ったCD「Retrospechve」。ジャケットのイラストを緒方さんが担当した。



緒方さんの描いた八代宮

それから5年。緒方くんと海を越えての交流は続いています。いつかまた一緒に何かできるといいなと願っています。

（三輪真理）

近年SNSの世界的な広がりによって、殆どの地域で我々は気軽に情報交換が出来るようになりました。多くの情報が海外からも十分に得られるので、以前の不便さ比べれば、それは本当に計り知れない程の恩恵を実感しています（笑）。SNSは上手に活用したいですね。

こうして幼なじみの下津さん（旧姓）と再会し、創作のコラボが実現しました。これからも下津さんとはお互いが刺激になる友だちでありたいと思っています。

（緒方慎二）



Story Bridge & Jacaranda

三輪真理さんプロフィール

八代出身、広島大学卒。広島在住の音楽家。シンガーソングライター、ピアニスト。幼少期から高校までクラシックピアノを学ぶ。現在は広島を中心にピアニストおよびボーカリスト、作詞家、作曲家として幅広く活動中。

緒方慎二さんプロフィール

八代市出身、多摩美術大学卒。オーストラリア、ブリスベン在住の水彩画家。自宅で絵画の指導も行う。海外移住後、日本の良さを再認識し、日本の伝統的な描線を活かした画法「アコースティック・ドローイング」を編み出す。現在も幅広く活動中。

パイプラインで 世界をつなぐ

伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社

西田 裕幸さん（高41回卒）

平成元年卒業（41回）の西田裕幸です、今でも八高グラウンドで野球をしている夢を見ます（甲子園に行きたかった・・・）、私は今年50歳、これまでの歩みを振り返ってみても八高での3年間は燦然と輝き、また机を並べた友達が今でも自分の人生に彩を与えてくれています。

私は横浜国立大学を卒業し、海外への漠然とした憧れから、伊藤忠商事に就職しました。配属は鉄鋼部門、その後、伊藤忠と丸紅の鉄鋼部門が統合して伊藤忠丸紅鉄鋼が誕生、以来、当社社員として楽しい商社マン人生を歩んでおります。

会社人生は27年強ですが16年は海外駐在であり、漠然とした憧れは現実のものとなっています。これまでの駐在地は台北、北京、バンコク、ニューヨークと四都市、仕事はいつでもダイナミックで充



家族とコペンハーゲンを訪ねる



アメリカ、ヒューストンのパイプヤード

実したものであり、プライベートでもそれぞれの地で様々な人に出会い、時に家族ぐるみで付き合い、人生の友もたくさん出来ました。

私が現在、所属している部署は鋼管本部といって石油、ガスの掘削用のパイプ、掘った石油、ガスを運ぶパイプライン用のパイプを供給するのが主なビジネスであり、全世界に供給拠点を持つてオイルメジャー等との取引を行っています。

商社勤務という八高時代、英語は得意でしたか、と聞かれそうですが全くダメでした。しかし言葉はあくまで道具、ビジネスは結局人と人との繋がりであり、よって人間力の勝負だと思っています。生徒の自主性を重んじる校風の八高、その3年間で人間力は磨かれたはず（？）との信念のもと、これからも頑張っていく予定です。

地元での劇団活動を中心に 全国で活躍

村山 優一郎さん（高49回卒）

切っ掛けは八代のキリシタンの殉教者を描いた音楽劇に出演したことですね。それまで縁もゆかりもなかった演劇という分野に足を踏み入れ、どっぷりと浸かってしまいました。今では二つの団体に所属し、自分で作・演出をすることもあります。2016年に作った『怪談君ヶ淵』では、八代と全国に散在する『君ヶ淵』の伝説を調べ上げ、一つの怪談話に仕立て上げました。度々再演を望まれる良い作品になったと自負しています。



よく演劇の魅力は何かと聞かれますが、自分でも分かりません。お金も時間もかかり、ひたすら苦しく、これが終わったら辞めようと思うのですが、公演が終わるともう次の作品の事を考えているのです。人と力を合わせないと出来ないというのが魅力といえば魅力でしょう。演劇はコミュニケーションの芸術です。人から何かを受け取り、何かを伝える、この連続で出来ています。そしてキャストとスタッフとお客様が一つになった時に生まれる感動は、他の何にも

代えがたいものになるのです。八代では子ども達と一緒に演劇活動をしてますが、彼らもコミュニケーションを大切にしている人間に成長していつてほしいと思っています。

現在、一つの戯曲を書いています。私が演劇を始める切っ掛けになった作品と同じく、八代のキリシタンの殉教の事件を題材とした話で、江戸時代と現代の人を結びつける作品を目指しています。新型コロナの影響でいつ上演出来るのかも分かりませんが、完成した暁にはぜひご来場ください。



会員紹介 八代版

栄えある「オレンジリボン 芸術大賞」を受賞

村上満智子さん（高11回卒）

私は、絵を趣味で描いている。唯ひたすら「いい絵」が描きたい一心で、賞は貰ったことはないが別に欲しいとも思わない。絵は自己表現であり、自由でいい、自分を磨く外ない。高校時代から、茶道・絵を学び、途中数年間のブランクはあるが、遊びながら続けてきた。恩師松本得三先生に、自分の絵を掛け！と学んだ。自分にしか描けない絵、日本人が描く油絵を意識した。茶道は総合芸術であり、美術・工芸・花・禅語等の日本文化全般に亘っている。ひとりよがりにならない事、慮ることを大切に思う。



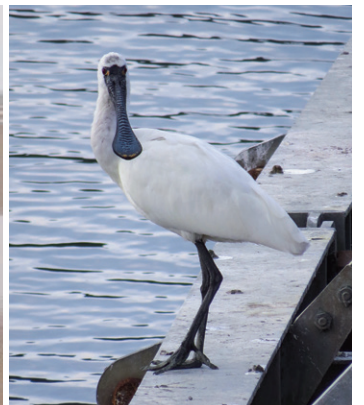
2019年作「清流に遊ぶ」が、評論家長谷川栄監修 7月15日～7月19日船橋市民ギャラリー於 アートパズルと平和展 児童虐待防止を訴うキャンペーンで、オレンジリボン芸術大賞を頂く。

12月8日～12月13日 日・仏友好オリジナル切手展inパリ 切手誕生180周年記念 日本郵政制作84円記念切手になる。パリのギャラリープラネットルージュに 展示終了後発売となる。

干潟を守る活動を 続けています

高野茂樹さん（高18回卒）

大学で生物学を学んだ私は、高校の生物教師として働き、退職後にはクロツラヘラサギ（トキ科）をテーマに学位を得、野鳥に目を向けながら過ごすごができました。1981年、母校に赴任した頃は各地の干潟が失われていた時期でしたが、球磨川河口干潟には多くのシギ・チドリ類が飛来し、干潟が大切な生息地になっていることを知りました。1988年には「野鳥を楽しむ、野鳥と人とが共生できる環境の保全」を目的に「八代野鳥愛好会」を設立。会員数は20～30名の小さな数ですが、これまでに300回を超す月例探鳥会を実施、会誌「カワセミ」は第33号を発行。その間、八代市に「市の鳥」カワセミを推薦、球磨川河口干潟のフライウェイ・ネットワーク（シギ・チドリ類）への参加を請願、人と野鳥が共生できる環境が整えられることに尽力：などの活動が認められ、2017年に「熊本県環境賞」、2018年には「地域保全功労者環境大臣表彰」を受けることができました。先年、荒尾干潟がラムサール条約湿地に登録されました。干潟の恵みをワイズユース（持続的・賢明な利用）しつつ、湿地生態系の保全を目指す



絶滅危惧IB類に指定されているクロツラヘラサギ。毎年越冬するため、日本には500羽ほど飛来、球磨川河口などの干潟では約100羽ほど見ることができます。

という国際条約です。球磨川河口一帯も条約登録に値する地域で、希少な野鳥が数多く飛来、生き物の多様性に富んだ干潟が形成されています。現在も、多くの方々の理解を得るための観察会、学習会、浜辺の清掃活動、田んぼの生き物調査などに取り組み、野鳥を楽しみながら「生息地を守る活動」をしています。

農事組合法人 鶴喰なの花村 でございます

早川博秋さん（高25回卒）

八代市坂本町 鶴喰（つるばみ）は、戸数約70戸、人口約140人の小さな中山間集落です。52歳で帰郷。齢66にしてささやかな夢があります。「農事組合法人 鶴喰なの花村」を年商5千万円の企業となし、地元若者が定住（結婚・出産・育児）できる経済的環境を創り上げることです。





私は、高25回卒。大阪外国語大学、ミズノ(株)、㈱レザックス、自営業を経て、平成29年なの花村設立の一員となりました。なの花村の中核商品は、鶴喰米(つるばみまい)です。特別栽培米・熊本県うまい米基準5ランク認証の「鶴喰米」は、ブランド米として着実に育ちつつあります。第2の柱のアスパラガス。戦略作物としてのニンニク。いずれも、順調に売上を伸ばしています。

この場を借りて同窓会の皆さんにお願いです。八代市へのふるさと納税の使い途として「7月豪雨の災害支援金」を、返礼品として「鶴喰米」をご指名ください。坂本町の復興と鶴喰を救う貴重な力となります。よろしく願います。

八高同窓会飾馬奉納会

山崎宏治さん(高28回卒)

新型コロナウイルス、全国に被害をもたらした集中豪雨。被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。又、各同窓会支部に於かれましても総会等の中止を余儀なくされておられる事と推察いたします。さて、この様な状況の中、今年度の妙見祭において飾馬奉納の中止が決定されました。誠に残念ですが、高校創立九十周年を機に立ち上げた会で、学校・PTA・同窓会の多くの方々のご支援の下、奉納馬の調教の活動が続けております。

現在、同窓生を中心に友人知人の協力を得て八高同窓生としての誇りを持って取り組んでおりますが、同窓生のメンバーも年を重ね、膝軟骨をすり減らしながら活動しております。八代内外に誇れる祭りに我が八代高校同窓生として一役を担って八代の文化継承に少しでも尽力できればと思っております。今後、多くの方々から愛される八高同窓会飾馬奉納会でありますよう精進してまいります。

興味のあらわれる方は何時でも歓迎します。

ロマンを求めて

堀池美千代さん(高28回卒)

私は37年間中学校の音楽科の教師を勤め退職しました。それまでには山あり谷ありで、定年までもつかと思ったこともありましたが、これから自由にしたいよという状況が見えた時、もう少し子どもたちの側にいて何か役立ちたいと思うようになりました。

そこで再び音楽教師として再出発したわけです。

一昨年は竜北中学校で久しぶりに吹奏楽部を指導し少人数のコンクールで南九州大会に駒を進め鹿児島で演奏を披露しました。楽器未経験の生徒にこれから教える訳なので苦労も多かったのですが、宿泊地の霧島温泉で白濁の湯に3回つかる苦労も吹き飛びました。

また昨年は日奈久中学校に転動しましたが、毎年ミュージカルを上演していたので是非にと請われ、ブロードウェイの「コーラスライン」を中学生用に脚本から制作して取り組みました。これは50名



の全校生徒がステージで踊り演じるもので、昨今の中学校の厳しい状況下でこれをやり遂げられたのは日奈久の穏やかな風土でのびのびと育った子どもたちだからこそと自負しています。

私がこれまで演劇やミュージカル、吹奏楽でのマーチングを指導してこられたのも、八高時代に俳優として活躍されている同級生の岩崎幸代さんから誘われ演劇部のお手伝いで演劇コンクールにも出場した経験が活かされているんだろうと思います、この出会いに感謝しているところです。よく「教育はロマンだ」と言われます。教職生活40年を迎えた今、まさにそのことを噛みしめながら孫のような生徒たちと目一杯音楽を楽しんでいる今日この頃です。

松井君と私

白石勝裕さん（高44回卒）



平成4年度卒業の白石勝裕です。昭和49年生まれで、読売巨人軍や大リーグで活躍した松井秀喜君と同年です。

私は八代高校卒業後、東京農業大学に進学し、実家の郡築にて就農しました。現在はトマト1.7haと水稲3haを栽培しています。東京ドームが約4.7haですので、松井君が活躍した東京ドームと同じ広さです。結婚は松井君より少し遅れて、35歳の時に八代高校の後輩で5つ下の妻と結婚しました。その後子宝に恵まれて、小学2年生の長男を頭に三男二女の5人授かりました。次男からは年子の双子に年子とギョツとつまっています。すべて立ち会いましたが、双子もすべて自然分娩で出産した妻はすごいと思います。

長男から5人とも坂本のかわたけ保育園にお世話になっています。裸足で泥んこになりながら、川遊びや山歩きなど、坂本の自然のなかで毎日いろんな体験をしていました。ところが7月の豪雨で保育園は屋根まで浸かり、いつもSしが通ると手を振っていた球磨川第一鉄陵も流

されてしまいました。普段の光景からは信じられないような凄まじい水害です。現在は鏡の西部小学校跡地を借りての保育で、先生方も被災されながらも子供たちを預かっていただき感謝しかありません。今回被災された方々が、少しでも早く以前の日常を取り戻されることを心より願います。



5人の子どもを育てる郡築のトマト農家



最後に「ゴジラ」の愛称で活躍した松井君ですが、うちの五児等もこれからどんな活躍をしてくれるのかを楽しみに、仕事に子育てにとめぐるしい日々を頑張っていきたいと思っています。

八代商工会議所 新型コロナウイルスへの 取り組み

八代商工会議所専務理事

松本章さん（高25回卒）



私は八代高校25回卒業生で、山岳部にも所属しておりました。私は令和元年9月に65歳で新たな仕事へのチャレンジとして、今まで経験のない役職を拝命しました。

商工会議所は地区内における商工業者の共同社会を基盤とし、商工業の総合的な改善発達を図り、兼ねて社会一般の福祉の増進に資し、もってわが国商工業の発展に寄与することを目的としております。この目的に従って、今回新型コロナウイルスへの取り組みを行っております。まず、2月下旬に新型コロナウイルスに対する金融政策を、他市に先駆け、市内の全金融機関に呼びかけ、八代金融対策意見交換会を開催いたしました。全国で感染拡大が進み飲食業、旅館業をはじめ経済に影響が進むなか、会頭の判断

により、経済四団体に呼びかけ、八代市に新型コロナウイルス対策支援事業の提案を行いました。市では様々なコロナ対策支援等が実施されています。特に飲食業等では、政府の外出自粛要請、熊本県休業要請などで飲食店等の経済状況が悪化してきました。そこで、経済四団体で「八代飲食応援隊」で、飲食店向けクラウドファンディングを立ち上げ、7月上旬には総額二百万以上の支援金を飲食店等に届けることができました。しかし、全国的に感染が拡大するなか、安心して飲食店等に行ける状態にあるのか不安を感じました。熊本県では「感染防止対策チェックリスト」が作成されていましたが、なかなか事業所に浸透していませんでした。そこで、熊本県南広域本部、八代保健所、八代市と協議し、6月22日に「安心なまちやつしろプロジェクト」の発会式を行い、「八代感染防止対策チェックリスト」を全事業所で作成のうえ公表し、感染防止と経済活動のバランスをとり、官民一体となり推進することになりました。同窓生の皆様もどうぞ、安心なまちやつしろの推進にご協力頂きますようお願い申し上げます。詳細は、八代商工会議所のホームページでご確認ください。



八高の思い出

空手道バカ一代

村岡 正さん（高24回卒）



押忍！ 半世紀前、空手部があった高校は県内では十校程度という真にレアでマイナーな部活動であったことは否めません。創部当時は造詣深い名のある



四六時中
空手のこ
とばかり、
頭がメビウ
スの常状態

で1分たりとも学習機に向かったような覚えがなく（部活動を引退した後も、卒業まで懈怠の悪習は治しようがなく）叱責した同輩たちが立派になり、今となつては後悔と屈辱の念に苛まれるばかりです。夏は暑く汗臭く、冬は冷たさに震えながらも、そんな仲間と部を盛り上げ、2年生の秋には九州大会出場権まで獲得していました。高空連（昭和47年まで高体連にも入って貰えない体育部であり、全国高校空手道連盟に各校空手部は加盟）の試合は自由組手のみであり、専ら組手に練習時間を費やしていました。日々の練習は、体力、基本、間合い、さばき、緩急、攻撃の追及でありました。思い出深いエピソードとしては、組手練習中に笑い悪ふざけ、友人拳士に歯を折られたことでもあります。前歯2本の正方形を見事に正三角形抜き。友は私の歯は虫が喰つていたこと、自らの拳を数針縫う羽目になったことを言い訳に責任逃れを主張していました。：高校教職に就き、30年間空手の指導者となった私は、そのトラウマからか生徒・弟子たちには歯を見せての練習を厳に禁じたものです。

当時から空手は武道であるという概念があり「礼に始まって礼に終わる」を真つ先に教えられ、今も頭に刷り込まれています。八高空手（道）部精神は今も当部で汗を流した者には受け継がれていることでしょう。空手の教えを心身に刻み、我が青春のメモリ領域を占有した空手部。その後の人生に味彩



を与えてくれたことに今は感謝です！遠い昔の話。時は待たず、記憶の欠片は霧中に。結びに母校空手道部の今後の隆盛と後輩たちの百折不撓の努力を祈念す。押忍！！

私が女優になったわけ

岩崎幸代さん（高28回卒）



私が八高の校内で最も親しんだ場所といえば、図書館と演劇部の部室である。図書館棟は、どこか異空間の雰囲気漂っていて大好きだった。しかし、圧倒的に長く過ごしたのは演劇部の部室だ。私の高校生活は「演劇部」抜きでは語れない。入学当初から入部を決めていたのかどうか定かではないが、最初に部活見学に行ったときのことはいく覚えている。先輩方が体育館のステージで芝居の通し稽古をされていたように思う。二つ上の先輩方の演技が上手で思わず見入ってしまった。そのうちのお一人は、入学してすぐに、我が1年10組の教室にオリエンテーションに来て下さった方だった。個性的な声と演技。確かお名前を「藤田さん」と仰つたように思う。私はすぐに入部を決めた。それが、あの部室との付き合いの始まりだ。

体育館の2階、向かって右手のステージ脇である。今でも手に取るように思い浮かぶ部室の中の様子、窓から見える景色、夕暮れていく空の色、匂い……。



部室にある本棚で見つけたのは演劇誌『テアトロ』だったか、『新劇』だったか。部費で毎月定期購入されているとのことだった。巻頭から数ページは、



主に東京で上演されている演劇の舞台写真。そして劇評。旬の舞台俳優や劇作家のインタビュー記事。太地喜和子、安部公房、別役実……、「ああ、今この人たちが舞台演劇の中心なんだ」と初めて知った。それまで戯曲を読むのは苦手だったが、この演劇誌に掲載された最新戯曲は夢中になって読んだ。そして、新年号となると、各劇団の俳優養成所の募集特集記事が掲載される。この特集には悪魔的な魅力があった。ページをめくると、誌面が「さあ、東京へおいで。舞台は楽しいよ。同じ夢を見る仲間がいっぱいいるよ」とささやくのである。あの風通しのいい明るい部室で、部員とおしゃべりするのも楽しいが、ひとり、そのささやきに身を委ねるのも極上の楽しみであった。おそらくそれが、今私がここにいる原点だろうと思う。もう一度、あの部室を訪れることができたなら、さて今度は、どんな魔物が私を誘惑してくれるだろうか。

武澤直穂さん(高72回卒)

立命館アジア太平洋大学1回生

大学生紹介

上田利瑳子さん(高65回卒)

九州大学大学院

マイナスをプラスに、そして今、できることを!

私が通っている立命館アジア太平洋大学 (APU) は、日本各地から集まる国内学生に加え、全学生の約半数は90以上の国や地域から集まる、多文化・多言語環境の大学です。それ故勿論、新型コロナウイルスの影響で春semesterは全てオンライン授業になりました。志望校に合格した喜びも束の間で、入学式もない、念願であった国際生と生活を共にする国際寮APハウスには、いつ入寮できるかわからない、何だか少々色あせた大学生生活の始まりとなりました。

また、突然の慣れないオンライン授業も不安でいっぱいでした。しかし、手厚い先輩方のサポートもあり、毎日の課題、グループミーティングなど、始まってみると一日があっという間に過ぎていきます。授業の中では、グループワークやディスカッション、プレゼンテーションなどが多いため、オンライン授業では言葉の壁をより一層感じる事も多々あります。一方、より多くの人と意見を交換できるという点では、対面授業より良いと感じています。



オンラインでディスカッション

私は今、憧れだったGASS (Global Admissions Student Staff) という学生団体に所属し、オープンキャンパスを主催して高校生にAPUの魅力を伝える活動を行っています。新型コロナウイルスの影響で、少々稀有な大学生生活の始まりとなりましたが、置かれた環境の中で自分にできることを考え、新しいことに挑戦し、充実した大学生活を送っていききたいと思います。そして、今はまだぼんやりとしている将来像をくっきりとしたものに変えていきます。

高校生の皆さん、新型コロナウイルスの影響を受けて不安を感じている人も多いと思いますが、今を大切に、様々なことに挑戦し充実した高校生活を送ってください。応援しています!



高校生の時訪れたオープンキャンパスで案内してくれたGASSの先輩と

教育現場や行政の課題をデザインで解決していきたい

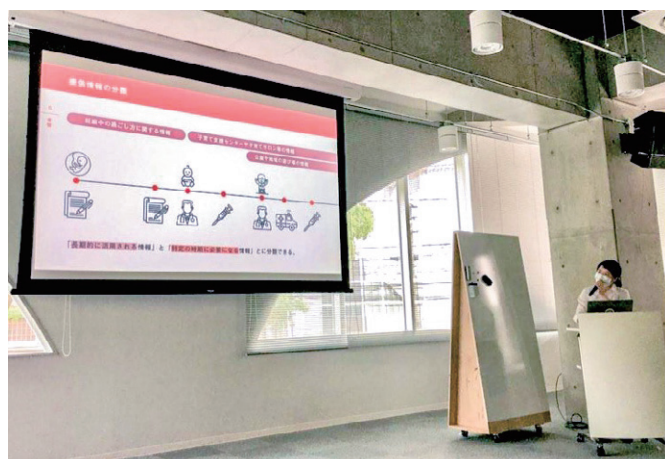
【経歴】

八代高校65回卒、九州大学21世紀プログラム卒業後、九州大学大学院統合新領域学府ユーザー感性学専攻感性価値クリエーションコースへ進学し、この秋に卒業。

私は一昨年結婚・出産し、今年は子育てをしながらの修士論文執筆、就職活動となりました。学業では、預ける先がなく子ども同伴で授業を受けなければならなかったり、授乳室がなかったりと、慌てたこともある反面、困った時に気軽にお願いできる友達や後輩が近くにいるのは心強かったです。また、子育ての先輩でもある先生が、「10年後には、子どもが仕事にアドバイスやヒントをくれることもある」と教えてくださり、子育ても仕事も長い目で楽しみにしています。コロナ禍での就職活動は、イベント中止などデメリットもありましたが、オンラインの面接により自宅で受けることができたのは、子どもがいる私にとってメリットでした。

来春からは、GMOペパボ株式会社のITプロダクトのデザイナーとして働きます。ウェブサイトやアプリの見た目を良くするだけでなく、サービス設計なども幅広く考えるUI/UXデザイナーです。デザイナーはセンスを問われるものだと思いますが、最も大事な力は「使う人のことをどれだけ考えられるか」だと思っています。「何のため、誰のためにデザインをするのか」という理由を持っている人なら、やり方はいくらでも学べます。私もその一人です。

これからは、ただかっこいいデザインを作るのではなく、デザインを通して困っている人に手を差し伸べられるようになりたいです。デザイナーは、教育現場や行政の難しい・分かりにくい仕組みを変えることだってできるんです。そんなふうに、根本的なことからより良くできる、影響力のある仕事を行うプロのデザイナーを目指しています。



No More Wars

今年、日本は戦後75年を迎えました。今や戦争体験者は減少し、戦争遺構も姿を消しつつあります。それは遺骨においても同じです。私は遺骨収集ボランティアとして、2月に沖縄へ行きました。そのきっかけは、沖縄戦で戦死した大伯父の遺骨や遺品を探すことでした。

沖縄は2月でも気温が25度を超えていましたが、ガマ(壕)の中は暗く、水滴が垂れ、冷たい空気が満ちていました。ガマは沖縄戦において日本軍の陣地や住民の避難壕となり、激しい攻撃に曝され多くの悲劇を生みました。原形をとどめないほど破壊されたガマは、今では内部に入ることも危険で難しいものです。しかし一歩中に入ると、錆びてはいるものの薬莢などが75年前のまま残っていました。それから数時間地面を掘り続けると小さな骨片を見つけることが出来ました。名前も知らない誰かの骨が私の手の中にある、それは、戦争の無惨さを心から実感した瞬間でした。また、一日も早く大伯父を故郷に帰したいという思いもより強くなりました。

戦争の悲劇は、沖縄だけではなくありません。八代高校(旧制八代中学)出身の戦没者も多く、陸海軍の特別攻撃隊の方や、空母「飛龍」の艦長がいます。生徒も機銃掃射で負傷したり、空襲からの復旧作業中に事故死したりしています。75年前、私たちの先輩である八高生もまた命がけで暮らしていたのです。

今年はコロナ禍で日常が一変しました。これまで当たり前と思っていた勉強や部活が突然できなくなり、改めて平和のありがたさを感じました。そして、戦争体験の継承への思いも強くなりました。

将来は、国際問題の解決などの仕事に従事し、より平和な社会を構築することに貢献できればと考えています。



収集した遺骨



調査した沖縄のガマ(壕)にて

第39回 全国高等学校クイズ選手権出場

昨年9月に行われた第39回全国高等学校クイズ選手権に、当時2年生の田中颯真くん、林田昌大くん、濱田康生くんが見事県予選を勝ち抜き、熊本県代表として出場しました。今回この素晴らしい経験をされた3人に感想を聞いてみました。



左から田中君、林田君、濱田君

Q1. クイズを始めた動機を教えてください。

田中 小さい頃からクイズ番組やなぞなぞの本をよく見ていて、興味がありました。

林田 小学生の頃からクイズ番組を見ていて、知らない専門用語や、身近なものや現象にも名前がついているのが面白いと思ったからです。

濱田 昔からクイズ番組を見ていて興味がありました。

Q2. 出場するきっかけは何ですか？

田中 小学生の頃に初めて番組を見た時から出たいと思っていました。以前は全国大会がアメリカで開催だったので、クイズが出来ればアメリカに行けるかも！と楽しみにしていました。

林田 中学生の時見た番組で、勝ち進んだチームがアメリカまで行って、豪華な会場や面白いゲーム形式でクイズをしていて、面白そうだったからです。

濱田 前年に県予選決勝で負けてしまい悔しかったのですが、翌年奇跡的にメンバーが揃い、もう一度チャレンジしたいと思ったからです。

Q3. 周りのチームの印象はどうでしたか？

田中 色々な人がいるなという感じでした。ずっとルービックキューブで遊んでいる人や、銀髪に染めている人がいました。全国の高校生と交流できたのは、すごく刺激になりました。

林田 皆、とても頭がよさそうで物静かに見えたのですが、話してみるととても明るく、面白く、そして皆クイズが大好きだと感じました。中には変人？と思うほど個性が強い人もいました。

濱田 クイズに限らず色々な特技を持っている人が多かったです。

Q4. 大会に出た後、自分はどう変わりましたか？

田中 以前より一つひとつの機会を大切にしようになったと思います。

林田 自分が住んでいる場所がとても小さな場所で、まだ見ぬ広い世界があると実感しました。そして自分とは異なった世界観を持った、様々な人たちと話してみたいと思いました。

濱田 同学年にこんなにすごい人達がいるんだというよい刺激になりました。

Q5. 学校での反応は何かありました？

田中 クラスメイトや先生達からの反応が大きかったと思います。

林田 自分たちの回答が司会者の柊さんにツッコミをもらった所をよくいじられました。また番組を見て知った先生方に声をかけられたり、褒められたりしました。

濱田 意外と話題になったが、映った時間が少なかったなので、そこまで反応も長引かなかったです。

Q6. 覚え方のコツを教えてください。

田中 関連付けです。

林田 覚えたいと思った言葉を一度覚え、ふと思い出した時などに確認して覚えていました。印象に残った問題は、最初の印象を心に刻みながら覚えています。

濱田 とにかくクイズをたくさん行い、いろんな問題に触れることです。

おめでとうございます



瑞宝大綬章受章

高20回卒の折木良一さんが今春の叙勲で瑞宝大綬章を受章されました。



折木さんは八高卒業後、防衛大学校に進学、その後陸上自衛隊に勤務され、中部方面総監、幕僚長を経て、2009年には統合幕僚長に就任され、自衛隊トップとして自衛隊活動全般にわたって指導力を発揮されました。また、2011年の東日本大震災では被災地対応を陣頭指揮されました。折木さんの長年にわたる自衛隊での功績に対し、この瑞宝大綬章が贈られたものです。

令和2年春の叙勲において、はからずも瑞寶大綬章受章の栄に浴し、7月末、皇居に参内し天皇陛下より勲記勲章を拝受いたしました。この身に余る光栄に際して、改めて約40年間、自衛官として勤務できたことを心から誇らしく感じています。そして、この世に生を授けてくれた今は亡き両親をはじめ、人生の基盤や方向性を与え応援していただいた故郷の皆様により感謝したいと思います。今後は引き続き、微力ながら社会活動などにおいて皆様に恩返しできればと考えています。

瑞宝大綬章受章に思う

折木良一

福岡管区気象台 台長賞受賞

広報委員の早田 螢（57回）さんが福岡管区気象台の気象台長賞を受賞しました。

気象業務に貢献した個人や団体に贈られる賞で、直近3年間で、お天気教室や防災ワークショップを県内外で60回以上開き、安全知識の普及啓発に尽くした功績が評価されました。

大学4年時に気象予報士の資格を取得。県外の民間企業を退職後、2016年夏に帰郷し、市内の小学校や公民館で講座を開くなど、地域に根差した取り組みを続けています。

子どもから高齢者まで、対象に合わせた講座を心掛けるのは、3児の母であることも影響しています。

「災害が起きたときに、自分自身で考えて行動できるような知識を伝えることが大切」と話しています。



大学生が指南役!!

現役大学生による八高生フォローアップ事業を始めます。

新型コロナによって、多くの大学で入学式が行われず、教室での対面授業も行われず、自宅でのリモート授業が日課になっています。志望校決定に大きな影響を与えるオープンキャンパスも開かれず、受験生にとって不安な日々が続いています。そこで同窓会では、全国にいる八高卒の現役大学生により、大学や学部の紹介、受験情報などをSNSを介して伝えるなどして八高生をフォローアップしていく事業を始めしていくことになりました。現在体制作りや運営方法について調整中です。決定次第同窓会のホームページに掲載する予定ですので、詳しくはそちらをご覧ください。

住所変更時の連絡のお願い

住所を変更されましたら、事務局までご連絡ください。

連絡先 〒866-0885 熊本県八代市永碇町856
熊本県立八代高等学校同窓会
TEL 0965-33-4138
FAX 0965-35-8463
事務局直通 080-2743-9712

メールアドレス

85jimukyoku@hachiko-dosokai.com

同窓会ホームページからも住所変更の手続きができます。

ホームページアドレス

<http://www.hachiko-dosokai.com>

平成31年度 八代高校同窓会会計 決算

1 収入の部

(単位：円)

費 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差異 (A - B)	摘 要
年 会 費	5,000,000	4,516,350	483,650	2,031人分(内訳下表)
入 会 費	1,200,000	1,205,000	-5,000	5,000×237名分
雑 収 入	200,000	443,859	-243,859	名簿代、寄付(高37回他)
合 計	6,400,000	6,165,209	234,791	

2 支出の部

費 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差異 (A - B)	摘 要
会 議 費	60,000	17,651	42,349	会議諸経費
印 刷 費	120,000	100,776	19,224	総会案内状
役 務 費	600,000	450,446	149,554	郵便、通信費、HP管理費、払込手数料
広 報 費	4,000,000	3,623,420	376,580	会報発行費
備品消耗品費	100,000	31,990	68,010	用紙代、プリンターインク代
慶 弔 費	200,000	118,616	81,384	弔電代、広告料、教職員記念品代
人 件 費	800,000	800,000	0	事務局手当
新入会員歓迎費	300,000	52,800	247,200	校歌CD、卒業証書入れ丸筒代
旅 費	1,000,000	886,120	113,880	支部地区同窓会出席旅費
雑 費	350,000	230,825	119,175	花馬補助等
地 区 補 助 費	260,000	260,000	0	支部・地区通信費への補助
積 立 金	1,000,000	0	1,000,000	次回周年事業費(特別会計へ)
合 計	8,790,000	6,572,644	2,217,356	

前年度繰越金	17,308,748	17,308,748	0	
当年度収支差額	-2,390,000	-407,435	-1,982,565	
次年度繰越金	14,918,748	16,901,313	-1,982,565	

金銭管理状況

普通預金	九州労働金庫	1,033,279	年会費振込金額	人 数	総金額
普通預金	肥後銀行	2,345,833	2,000 円	1,990人	4,128,350円
振替口座	ゆうちょ銀行	2,652,965	4,000 円以上	41人	388,000円
定期預金	九州労働金庫	7,017,866	合 計	2,031人	4,516,350円
定期預金	熊本県信用組合	3,851,370			
		16,901,313			

令和2年度 八代高校同窓会会計 予算

1 収入の部

(単位：円)

費 目	本年度 予算額 (A)	前年度 予算額 (B)	差異 (A - B)	摘 要
年 会 費	5,000,000	5,000,000	0	2,000円×2,500人
入 会 費	1,200,000	1,200,000	0	5,000円×240名分
雑 収 入	200,000	200,000	0	名簿代、寄付、預金利息等
合 計	6,400,000	6,400,000	0	

2 支出の部

費 目	本年度 予算額 (A)	前年度 予算額 (B)	差異 (A - B)	摘 要
会 議 費	30,000	60,000	-30,000	会議諸経費
印 刷 費	20,000	120,000	-100,000	
役 務 費	550,000	600,000	-50,000	郵便、通信費、HP管理費、払込手数料
広 報 費	4,000,000	4,000,000	0	会報発行費
備品消耗品費	50,000	100,000	-50,000	用紙代、プリンターインク代
慶 弔 費	150,000	200,000	-50,000	弔電代、広告料、教職員記念品代
人 件 費	800,000	800,000	0	事務局手当
新入会員歓迎費	400,000	300,000	100,000	校歌CD、卒業証書入れ丸筒代
旅 費	100,000	1,000,000	-900,000	支部地区同窓会出席旅費
雑 費	300,000	350,000	-50,000	飾馬補助等
地 区 補 助 費	260,000	260,000	0	支部・地区通信費への補助
積 立 金	0	1,000,000	-1,000,000	次回周年事業費(特別会計へ)
合 計	6,660,000	8,790,000	-2,130,000	

前年度繰越金	16,901,313	17,308,748	-407,435	
当年度収支差額	-260,000	-2,390,000	2,130,000	
次年度繰越金	16,641,313	14,918,748	1,722,565	

八代高校同窓会 各支部・地区同窓会 連絡先

■ 八代高校関東地区同窓会

会長 勝井梅子 (高21回) 事務局長 後本一幹 (高21回)
事務局所在地 〒207-0013 東京都東大和市向原3-900-23 後本一幹税理士事務所内
TEL 042-563-9218 FAX 03-6369-3461
定例総会 毎年9月の土曜日 東京都内の会場で開催

■ 八代高校東海同窓会

会長 坂田孝之 (高18回) 事務局長 岩崎健作 (高23回)
事務局所在地 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-14-24
ライオンズビル第2丸の内705 旅行プランサービス内
TEL 052-204-1945 FAX 052-204-1943

■ 八高関西同窓会

会長 宮崎正郎 (高14回) 事務局長 新村 守 (高49回)
事務局所在地 〒530-0047 大阪市北区西天満5丁目9-3 アールビル本館7階
弁護士法人村上・新村法律事務所 新村守方
TEL 06-6316-8364 FAX 06-6316-8368
定例総会 毎年6月の第1土曜日 大阪市内の会場で開催

■ 八代高校岡山同窓会

会長 久保田壽一 (高18回) 事務局長 江村清二 (高20回)
事務局所在地 〒703-8262 岡山市中区福泊11-118 江村清二方 TEL 086-276-8050

■ 八代高校広島同窓会

会長 片山茂光 (高19回) 事務局長 村田栄治 (高28回)
事務局所在地 〒738-0036 廿日市市四季が丘4-6-14 村田栄治方
TEL 0829-88-9211 (Fax兼用)

■ 八代高校山口県同窓会

会長 山下鐵洋 (高14回) 事務局長 中村裕子 (高21回)
事務局所在地 〒755-0151 宇部市西岐波村松402 中村裕子方 TEL 0836-51-1046

■ 八代高校同窓会福岡支部

事務局長 磯部和之 (高23回)
事務局所在地 〒811-1346 福岡市南区老司2-23-80 磯部和之方 TEL 092-565-2232
定例総会 毎年7月 第1土曜日 博多祇園山笠にあわせて実施 福岡市内の会場で開催

■ 八代高校同窓会熊本支部

会長 中西雄一 (高20回) 事務局長 坂田雅孝 (高24回)
事務局所在地 〒861-4172 熊本市南区御幸苗田4-11-5 坂田雅孝方
TEL 096-379-0852
定例総会 隔年10月の土曜日 熊本市内の会場で開催

■ 八代高校大分同窓会

会長 草柳英一郎 (高12回) 事務局長 松本宏次 (高15回)
事務局所在地 〒870-0848 大分市賀来北1丁目2-40 松本宏次方 TEL 097-549-3386

■ 八代高校鹿児島同窓会

会長 森岡和之 (高16回) 会長事務局兼任
事務局所在地 〒891-0102 鹿児島市星ヶ丘3-29-10 森岡和之方 TEL 099-265-6508

■ 八代高校長崎地区同窓会

事務局 徳永哲郎 (高27回)
事務局所在地 〒852-8126 長崎市石神町39-41 徳永哲郎方 TEL 095-844-6106

個人情報の取り扱いと保護について

(八代高等学校同窓会個人情報保護基本方針)

1. 八代高等学校同窓会における個人情報の定義

個人情報とは、個人を識別できる情報で、氏名、住所、電話番号、勤務先・在学校名、勤務先電話番号、最終学歴等の情報を指します。
また、これらの情報のみでは識別できなくとも、複数の情報を組み合わせることにより個人を識別できる情報も含みます。

2. 個人情報をご提供いただく場合について

八代高等学校同窓会が個人情報をご提供いただくのは、以下の場合となります。
(1) 同窓会事務局から同窓会会員へ直接依頼する場合
(2) 同窓生や家族から同窓会事務局に間接的にご連絡いただく場合
(3) 同窓会会員から同窓会事務局に直接ご連絡いただく場合

3. 個人情報の管理について

八代高等学校同窓会では、個人情報を正確かつ最新の状態に保ち、不正アクセス・紛失・破壊・改ざん・漏洩または再提供 (「5. 第三者への情報提供について」に記載する場合を除きます) などの無いように、適切な管理を実施いたします。

4. 個人情報の利用目的について

ご提供いただいた情報は秘密扱いとし、同窓会会員の管理、および同窓会員名簿の発行を含む同窓会の運営に役立てる目的のみに使用します。

5. 第三者への情報提供について

八代高等学校同窓会では、ご本人の同意を得た場合以外には、同窓会会員以外の第三者に提供を行いません。
ただし、警察や裁判所等の公的機関から法律に基づく手続きにおいて照会を受けた等法令に基づく場合や、会員の行為によって同窓会会則等に反し同窓会の権利や財産等を保護するため必要と認められる場合、および人の生命・身体・財産等に対する緊急の必要性がある場合は除きます。

6. 個人情報管理責任者の配置について

個人情報を取り扱う責任者を置き、適切な管理を行います。

7. 法令等の遵守・個人情報保護方針の改定

八代高等学校同窓会では、日本国における法令等に従った個人情報の管理、利用を行います。
八代高等学校同窓会では、日本国における法令等の変更に合わせて、個人情報の保護をより確かなものとするため、またはその他の理由により、個人情報保護方針を改定させていただくことがございますので、定期的に個人情報保護方針のご確認をしていただきますようお願いいたします。

平成24年8月25日

熊本県立八代高等学校同窓会

なお、可能な限り、適切かつ迅速な処理を努めますので、個人情報に関する開示の申し出、苦情、相談等は事務局までご連絡ください。

八代高等学校同窓会事務局 (八代高等学校内)

TEL 0965-33-4138 FAX 0965-35-8463

(直通) 080-2743-9712

連絡用メールアドレス 85jimukyoku@hachiko-dosokai.com

コロナ禍、豪雨災害に負けない八高生を 支援するために寄付をお願いします

同窓会では八高生の夢の実現のため、これまで様々な形で支援をしてきました。

最近の新型コロナウイルス感染拡大、また、7月豪雨により、八高生にも学ぶ環境や部活動にこれまでになかったような様々な影響が生じています。そこで、同窓会として八高生の学習面や生活面でできる限りの支援を行っていかうと考えておりますが、少子化による生徒数減もあって、財政状況がかんばしくありません。

そこで、今回同窓生の皆様に一口 1,000円の寄付をお願いすることにいたしました。母校の後輩たちへの支援が充実したものになりますよう、ご協力をお願いいたします。

寄付金は郵便局に備え付けの振込用紙を利用して振り込んでください。通信欄に寄付金と明記し、□数もご記入ください。また、住所、氏名欄に卒業回も記入願います。



振込先

口座番号 01780=7=52031
加入者名 八代高校同窓会

2021年度 八代中学・八代高女・ 八代高校同窓会総会

日時：2021年8月28日(土)

会場：八代ホワイトパレス

※2021年度の大同窓会は高38回生が担当します。
多くのみなさんの参加をお待ちしております。

寄付を頂きました。ありがとうございます。
有意義に使わせていただきます。

2019年度	高20回生	¥70,000
2020年度	高30回生	¥250,000

会費納入のお願い

日頃より同窓会活動にご理解、ご協力いただき感謝申し上げます。

ご承知のように、同窓会活動として在校生に対する教育助成や会報発行、事務局運営等を行っておりますが、これらは皆さまからの会費を主な財源としております。

同窓会のさらなる発展のためにも会費の納入をよろしくお願いいたします。

なお、払込用紙を紛失された方は郵便局に備え付けの払込用紙を使って払い込みができます。その際は払込手数料はご負担願います。

振込先

口座番号 01780=7=52031
加入者名 八代高校同窓会

編集後記 広報委員の「私のこだわり」

第28回卒 広報委員長 一 親房

私のこだわりは肉の焼き方。基本Rare(しかもBlue)。熱の入れ具合で、至高の喜びが味わえる。あさり貝も難しい。ぶりぶり感にこだわる。火を止めるタイミングが試練。

第25回卒 岡村洋文

コマーシャル変態
テレビ小僧からテレビじいへ、番組本体よりCMが大好きな変態に成長。ビジュアルもサウンドも言葉も時代を映す鏡。毎年大量に排出される中、今年のお気に入りベストは、カネボウの口紅「唇よ 熱く希望を語れ〜I HOPE」。

第28回卒 作田典子

私のこだわりは、文章の繋がりや誤字脱字のチェックです。ちょっとした間違いも見逃しません。広報委員の皆さんは「鉄の女」と呼ばれています。

第30回卒 米本直美

「私って何かこだわりある?」と友人に聞いたら、目を丸くして「こだわりの塊でしょう!」と言われた。多すぎて当たり前になっていたようだ。でも旅が大好きな私は「こだわり」を捨てるのも上手だと自負している。「郷に入れば郷に従え」かな。

第36回卒 江崎博美

愛犬最優先な生活をしています。老犬なので特に孤独にさせないために実家に朝から預け仕事帰りにまた引き取るという毎日です。

第45回卒 内野裕子

私のこだわりという事で、かれこれ一ヶ月程考えてみたのですが、特に思い当たることがなく、結果『こだわりを持たないことが私のこだわり』ということになりそうです。

第46回卒 松永正大

ご飯は炊きたてに限る!

第49回卒 成尾善明

すみません。こだわりが多すぎて、どうしよう...(>_<)

第52回卒 柴崎政俊

色々こだわりがありすぎて、未だに独りです。

第55回卒 高見聡一郎

施されたら、施し返す。恩返しです。

第57回卒 早田 螢

休みの日は、絶対最後に起きる! 休日くらい朝は家事をお休みしたいからです。

第69回卒 桑原温乃

私のこだわりは、スマホの壁紙の設定の時にミリ単位で調整することです。どのラインで画像を切り取るか、設定しているときの集中力には自信があります。(私のこだわりと集中力を研究に注ぎたいところです...)